

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-5

< 第33週 >

手足口病の定点当たり報告数は第29週以降減少が続いているが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い / その他最新動向



注目すべき感染症

< 今週は該当記事はありません >



病原体情報
P.6-9

手足口病患者から検出されているエンテロウイルス 2011年 / ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2011年



速報
P.10-17

細菌性赤痢 2010年 / コクサッキーウイルスA6型による手足口病の流行 - 高知県



海外感染症情報
P.18-21

インフルエンザ / 鳥インフルエンザ - カンボジアにおける状況



感染症の話
P.22

< 今週はお休みです >



読者のコーナー
< 今週は該当記事は
ありません >



グラフ総覧(33週)
P.23-28



33週のデータ
P.29-41



発生動向総覧

< 第33週コメント > 8月24日集計分

全数報告の感染症

注意: これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が集計の期日以降に届くこともあります。それらについては一部を除いて発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。

感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを示します。

1類感染症

報告なし

2類感染症

結核327例

3類感染症

細菌性赤痢2例 菌種: *S. sonnei*(D群)2例__感染地域: 中国1例、インド1例

腸管出血性大腸菌感染症138例(有症者90例、うちHUS 2例)

感染地域: 国内137例、中国1例

国内の多い感染地域: 石川県17例*、千葉県16例**、大阪府9例、福岡県9例、埼玉県8例、栃木県6例、宮城県4例、富山県4例、静岡県4例、鹿児島県4例、秋田県3例、広島県3例、香川県3例

* 宿泊施設で発生した食中毒患者を含む(O26 VT1)

** 福祉施設で発生した食中毒患者を含む(O157 VT1・VT2)

年齢群: 0歳(1例)、1歳(6例)、2歳(4例)、3歳(5例)、4歳(2例)、5歳(4例)、6歳(2例)、7歳(5例)、8歳(4例)、9歳(1例)、10代(26例)、20代(19例)、30代(16例)、40代(9例)、50代(5例)、60代(12例)、70代(8例)、80代(9例)

血清型・毒素型: O157 VT1・VT2(50例)、O26 VT1(39例)、O157 VT2(24例)、O111 VT1・VT2(4例)、O157 VT1(4例)、O103 VT1(3例)、O145 VT2(3例)、O26 VT1・VT2(2例)、O157 VT不明(2例)、O26 VT不明(1例)、O128 VT2(1例)、O145 VT1(1例)、その他・不明(4例)

累積報告数: 2,492例(有症者1,727例、うちHUS 76例、死亡9例)

4類感染症

E型肝炎1例 感染地域: 三重県__感染源: 不明

つつが虫病1例 感染地域: 長崎県

デング熱1例 感染地域: タイ

日本紅斑熱1例 感染地域: 和歌山県

マラリア1例 三日熱__感染地域: パプアニューギニア

レジオネラ症11例(肺炎型11例)

感染地域: 埼玉県2例、東京都2例、神奈川県1例、新潟県1例(温泉)、愛知県1例、京都府1例、奈良県1例、国内(都道府県不明)2例

年齢群: 30代(1例)、50代(3例)、60代(3例)、70代(2例)、80代(1例)、90代(1例)

レプトスピラ症1例 感染地域: 宮崎県__感染源: 不明

5類感染症

アメーバ赤痢1例(腸管アメーバ症)

感染地域: 国内(都道府県不明)

感染経路: 性的接触(異性間)

ウイルス性肝炎4例 B型3例__感染経路: 性的接触3例(異性間1例、同性間1例、異性間・同性間不明1例)

C型1例__感染経路: 性的接触(異性間)

急性脳炎3例 病原体不明3例__年齢群: 0歳(1例)、2歳(1例)、5歳(1例)

劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例

年齢群: 90代(死亡)

後天性免疫不全症候群17例(AIDS 4例、無症候12例、その他1例)

感染地域: 国内16例、国内・国外不明1例

感染経路: 性的接触15例(異性間6例、同性間7例、異性/同性間2例)、静注薬物使用1例、不明1例

ジアルジア症1例 感染地域: 兵庫県

梅毒11例(早期顕症I期2例、早期顕症II期6例、無症候3例)

バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例

遺伝子型: *Van C*__菌検出検体: 胆汁

風しん12例(検査診断例10例、臨床診断例2例)

感染地域: 福岡県4例、神奈川県3例、兵庫県1例、国内(都道府県不明)4例

年齢群: 5 ~ 9歳(1例)、25 ~ 29歳(4例)、35 ~ 39歳(1例)、40代(5例)、50代(1例)

累積報告数: 297例(検査診断例228例、臨床診断例69例)

麻しん2例〔麻しん(検査診断例1例、臨床診断例1例)〕

感染地域: 国内2例

国内の感染地域: 福岡県1例、滋賀県/大阪府1例

年齢群: 20 ~ 24歳(1例)、40代(1例)

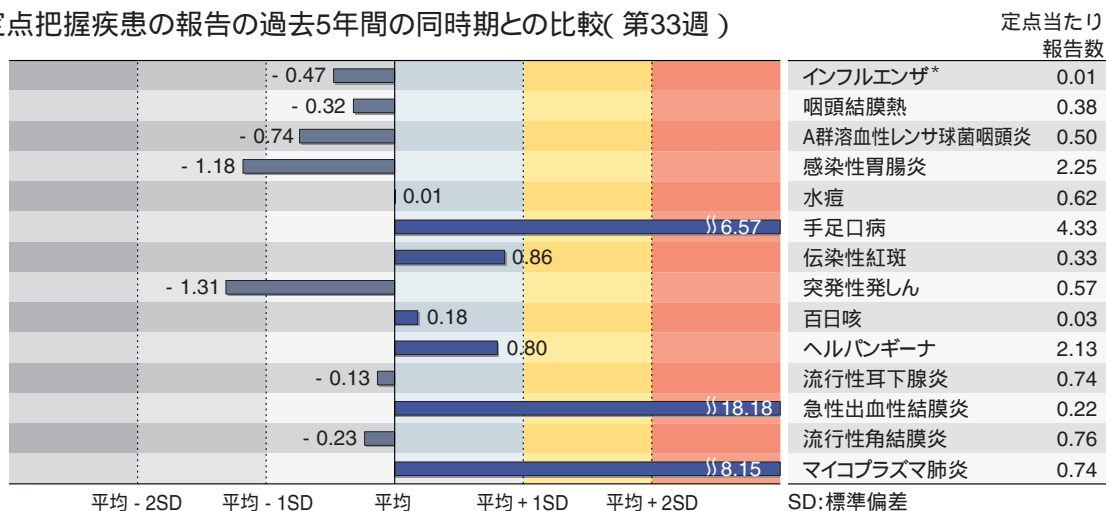
累積報告数: 389例〔麻しん(検査診断例182例、臨床診断例117例)、修飾麻しん(検査診断例90例)〕

(補) 2011年第32週までに診断されたものの報告遅れとして、急性脳炎1例〔ムンプスウイルス(5歳)〕、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例(80代)、後天性免疫不全症候群1例(病型: AIDS、感染地域: 国内、感染経路: 不明 . 死亡)、梅毒1例(先天梅毒)、破傷風1例(年齢群: 80代 . 死亡)、バンコマイシン耐性腸球菌感染症2例(遺伝子型: 不明2例__菌検出検体: 胆汁1例、尿1例)などの報告があった。

定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

定点把握疾患の報告の過去5年間の同時期との比較(第33週)



当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)との差をグラフ上に表現した。(* 2009年のパンデミックの影響を受けています。)

インフルエンザ

定点当たり報告数は第17週以降減少が続いている。都道府県別では沖縄県(0.43)、鳥取県(0.07)、岐阜県(0.06)が多い。

小児科定点報告疾患

RSウイルス感染症の報告数は857例と第30週以降増加が続いている。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約82%を占めている。

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は第29週以降減少が続いている。都道府県別では群馬県(0.90)、徳島県(0.78)、宮崎県(0.78)が多い。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は第24週以降減少が続いている。都道府県別では福井県(1.18)、鳥取県(1.16)、大分県(1.08)が多い。

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は微増した。都道府県別では大分県(5.4)、鹿児島県(4.2)、富山県(4.0)、福井県(4.0)、宮崎県(4.0)が多い。

水痘の定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別では宮崎県(1.39)、三重県(1.31)、長崎県(1.14)、大分県(1.14)が多い。

手足口病の定点当たり報告数は第29週以降減少が続いているが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別では青森県(12.6)、岩手県(10.7)、秋田県(9.6)、山形県(9.2)、大分県(8.3)が多い。

伝染性紅斑の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別では徳島県(1.09)、宮崎県(1.06)、福島県(0.85)が多い。

百日咳の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では兵庫県(0.13)、沖縄県(0.12)、広島県(0.10)が多い。

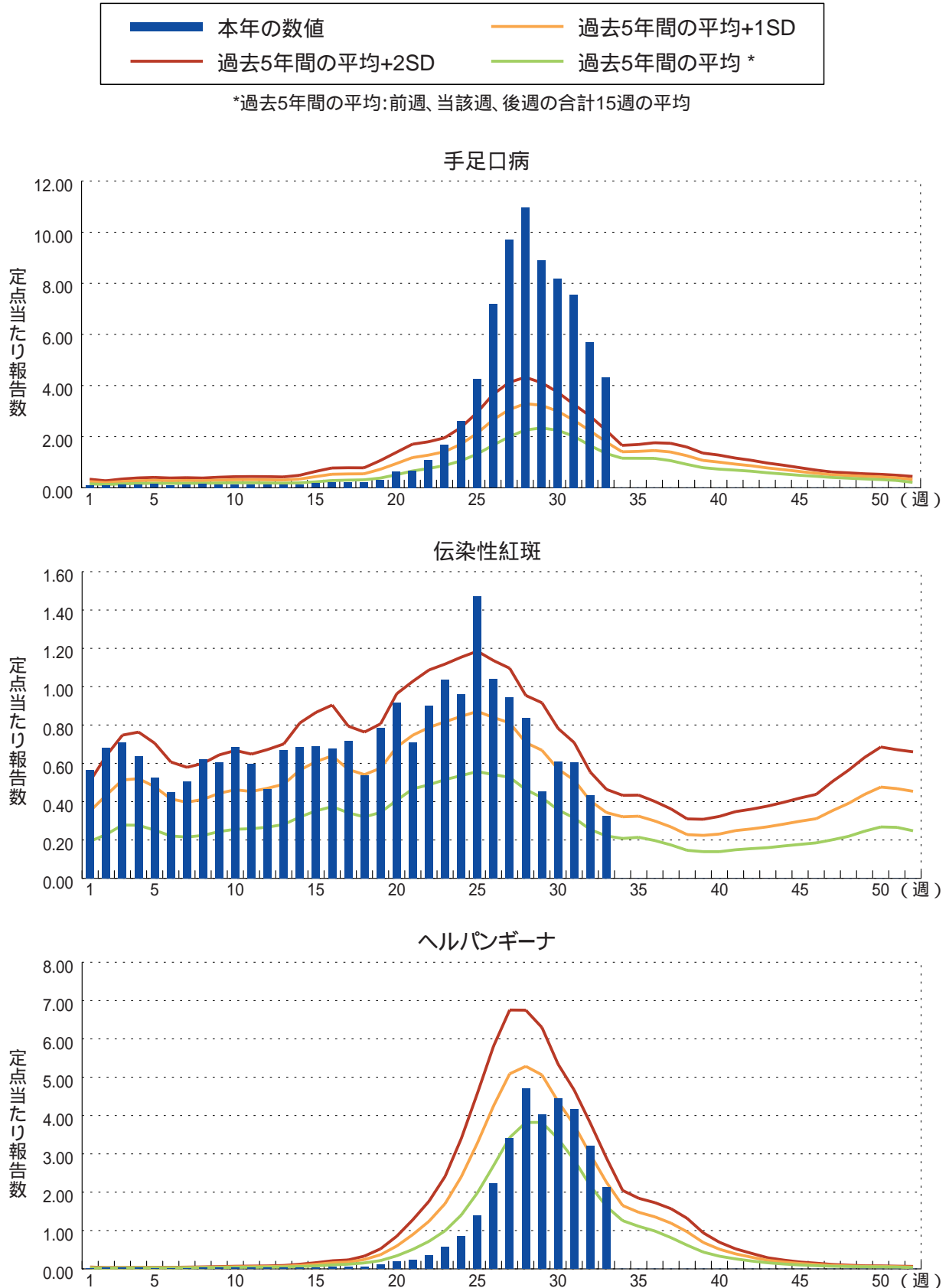
ヘルパンギーナの定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別では新潟県(8.9)、福島県(5.9)、宮崎県(4.8)が多い。

流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別では愛媛県(2.57)、長野県(2.33)、宮崎県(2.19)が多い。

基幹定点報告疾患

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では大阪府(2.93)、富山県(1.80)、愛媛県(1.67)が多い。

図. 主要定点把握疾患の過去5年間との週別比較(2011年第33週)
 青のバーで示す本年の定点当たり報告数が赤のラインを超えているときには、過去5年間の週と比較してかなり多いことを示す。





病原体情報

* グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

国立感染症研究所・感染症情報センターには各都道府県市の地方衛生研究所(地研)から「病原体個票」と「集団発生病原体票」が報告されています。これには感染症発生動向調査の定点およびその他の医療機関、保健所等で採取された検体から検出された病原体の情報が含まれています。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

(2011年8月25日現在報告分)

手足口病患者から検出されているエンテロウイルス 2011年

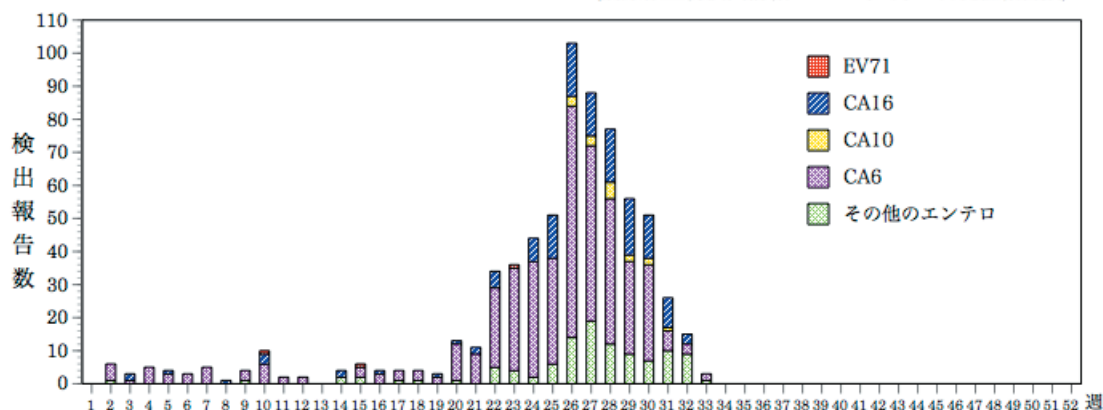
エンテロウイルス71型(EV71)は熊本県から第10週、第15週、第23週に各1件が報告されている。

A群コクサッキーウイルス(CA)16型は第3～32週に山形県23件、岩手県22件、福岡県16件、佐賀県15件、大阪府11件、大分県10件、香川県7件、兵庫県6件、神奈川県4件など126件の検出が報告されている。

その他のCAではCA6が第2～33週に大阪府72件、高知県53件(本号17ページ「速報」参照)和歌山県52件、兵庫県39件、島根県36件、神奈川県23件、富山県18件、岡山県13件、徳島県、大分県各11件、広島県10件、栃木県、福岡県、佐賀県各8件、千葉県、愛知県、奈良県、山口県各7件、静岡県、三重県、愛媛県各5件など426件、CA10が第26～31週に栃木県4件、岩手県、秋田県各3件、福岡県2件、群馬県、千葉県、神奈川県、長野県各1件、計16件報告されている。

週別手足口病患者からのエンテロウイルス分離・検出報告数、2011年

(病原微生物検出情報：2011年8月25日現在報告数)



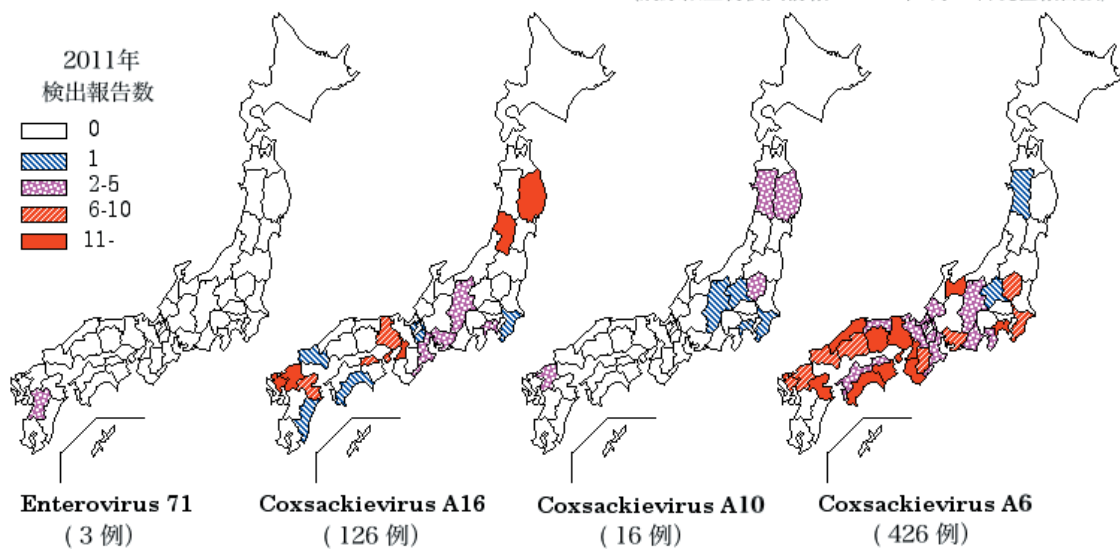
* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



Infectious Agents Surveillance Report

都道府県別手足口病患者からのエンテロウイルス71型、コクサッキーウイルスA16型、
コクサッキーウイルスA10型、コクサッキーウイルスA6型分離・検出報告状況、2011年

(病原微生物検出情報：2011年8月25日現在報告数)



* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した

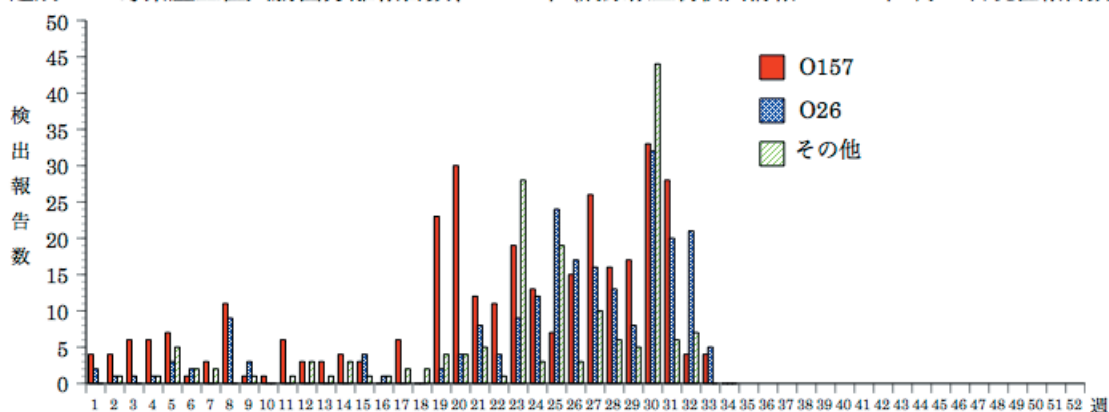
I A S R

Infectious Agents Surveillance Report

ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2011年

2011年第1～33週までの検出総数は720件で、第29週以降に発生した集団発生例からは、第29週に福岡県(飲食店)でO157(VT1&VT2)が2件、第29～30週に長野県(ホテル)でO103(VT1)が26件、O145(VT1)が12件、O121(VT2)が4件、第29～30週に岐阜県(保育所)でO26(VT1)が17件、第30～31週に岩手県(保育所)でO26(VT1&VT2)が10件、第32～33週に富山県(研修宿泊施設)でO26(VT1)が21件検出されている。

週別Vero毒素産生性大腸菌分離報告数、2011年(病原微生物検出情報：2011年8月25日現在報告数)



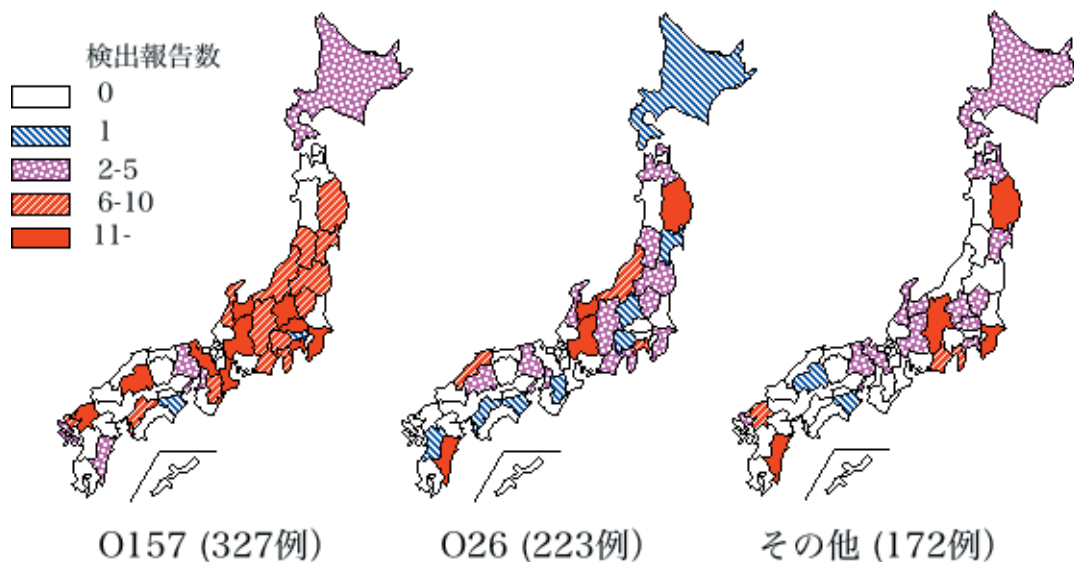
* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



2011年1～8月にO157が30都道府県から327件、O26が26道府県から223件、その他の血清型が21道府県から172件報告されている。

都道府県別Vero毒素産生性大腸菌分離報告状況、2011年

(病原微生物検出情報：2011年8月25日現在報告数)



* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した





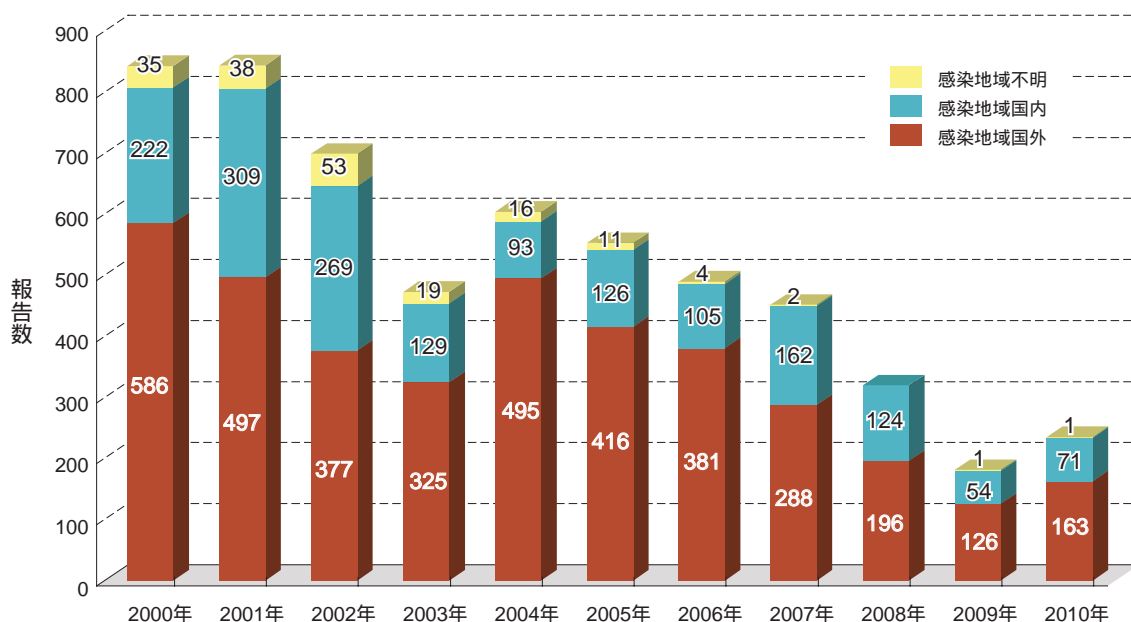
細菌性赤痢 2010年 (2011年7月25日現在)

細菌性赤痢は通常1～3日の潜伏期の後に、全身倦怠感、悪寒を伴う急激な発熱で発症し、発熱が1～2日続いた後、水様性下痢、腹痛、しぶり腹、膿粘血便などのいわゆる赤痢症状が出現する腸管感染症である。原因菌は *Shigella* 属の4つの菌種(*S. dysenteriae*、*S. flexneri*、*S. boydii*、*S. sonnei*)である。菌種は亜群とも呼ばれ、それぞれA群、B群、C群、D群に該当する。通常、*S. dysenteriae*、*S. flexneri* は典型的な赤痢症状を起こすことが多いが、*S. sonnei* では軽度の下痢、あるいは無症状で経過することが多いとされる。

細菌性赤痢は1999年4月施行の感染症法に基づく2類感染症として、疑似症患者、無症状病原体保有者を含む症例の届出が、診断した全ての医師に義務づけられた。2007年4月施行の法改正により、細菌性赤痢は3類感染症に変更され、患者及び無症状病原体保有者が届出対象(疑似症患者は対象外)となった。無症状病原体保有者は、探知された患者と食事や渡航を共にした者や、患者と接触した者に対する保健所の調査などによって発見される。

感染症法のもとで届け出られた細菌性赤痢の過去の年間累積報告数は、2000年843例、2001年844例、2002年699例、2003年473例、2004年604例、2005年553例、2006年490例、2007年452例、2008年320例、2009年181例であり、2010年の報告数(2010年第1～52週に診断されたもの)は235例であった(図1)。それらのうち、患者(有症状者)は220例、無症状病原体保有者は15例であった。性別では男性120例、女性115例で、年齢中央値は35歳(0～86歳)であった。確定または推定として報告された感染地域は、国内71例、国外163例、不明1例であった。死亡例の報告はなかった(但し、届出時点以降での死亡については届出義務がないので十分反映されていない可能性があり、届出時点以降での患者が死亡した場合の追加報告を届出医師や自治体に依頼している)。

図1. 細菌性赤痢の年別感染地域別発生状況(2000～2010年)

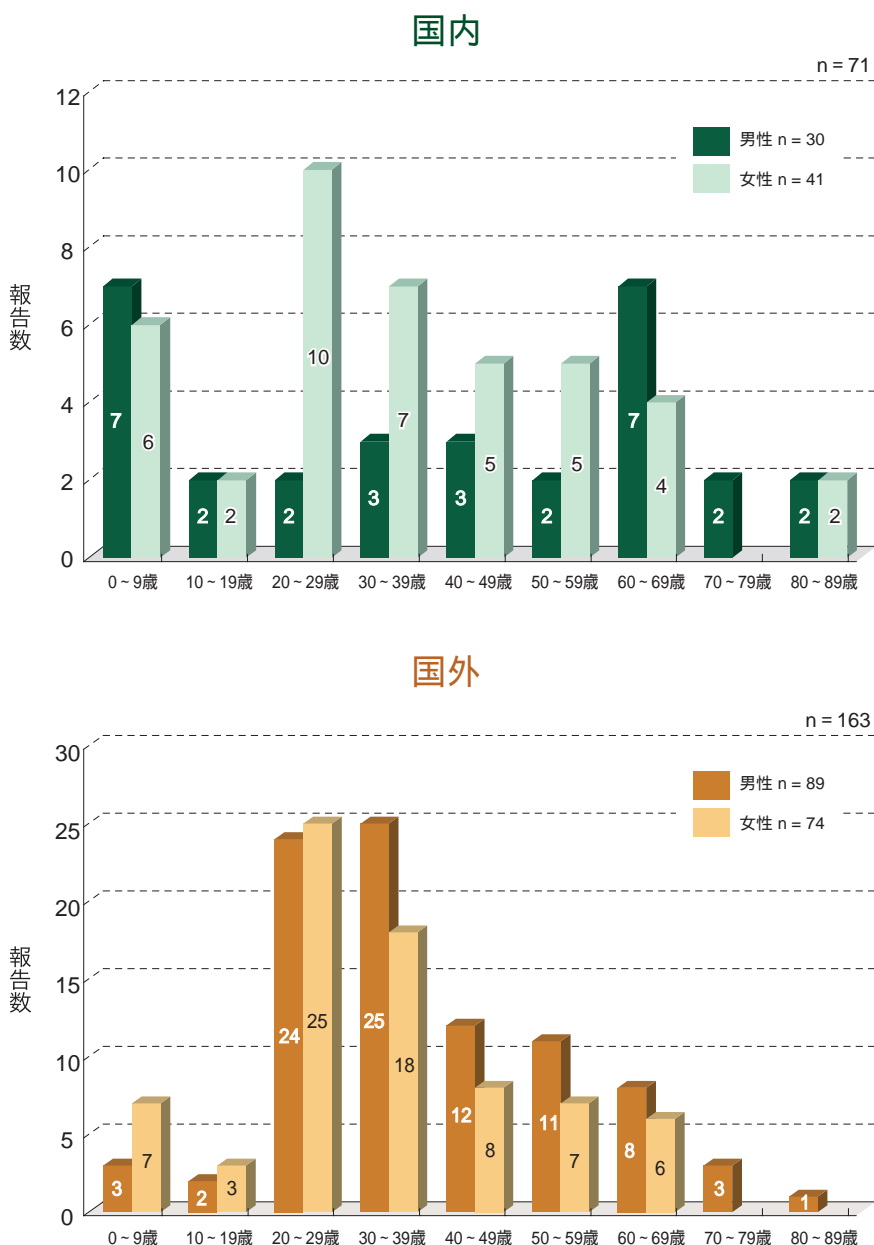


国内感染例：

国内を感染地域とする報告は71例であった。24都道府県から報告があり、東京都(18例)、神奈川県、長野県、福岡県(各6例)、愛知県(5例)の順に多く、また、感染地域の都道府県としては、東京都(13例)、長野県(7例)、福岡県(6例)、愛知県(5例)、神奈川県(4例)、宮城県、三重県(各3例)、福島県、埼玉県、富山県、滋賀県(各2例)、北海道、青森県、秋田県、山形県、茨城県、群馬県、千葉県、石川県、香川県、宮崎県(各1例)の順であった。2010年は、広域集団発生が疑われる症例集積を認めた(補1)。

71例の性別は男性30例、女性41例で、年齢中央値は36歳(0～86歳) (男性のみ40歳、女性のみ33歳) であった。年齢群別では、10歳未満13例、10代4例、20代12例、30代10例、40代8例、50代7例、60代11例、70代2例、80代4例であり、10歳未満、20代、60代の順に多かった(図2)。

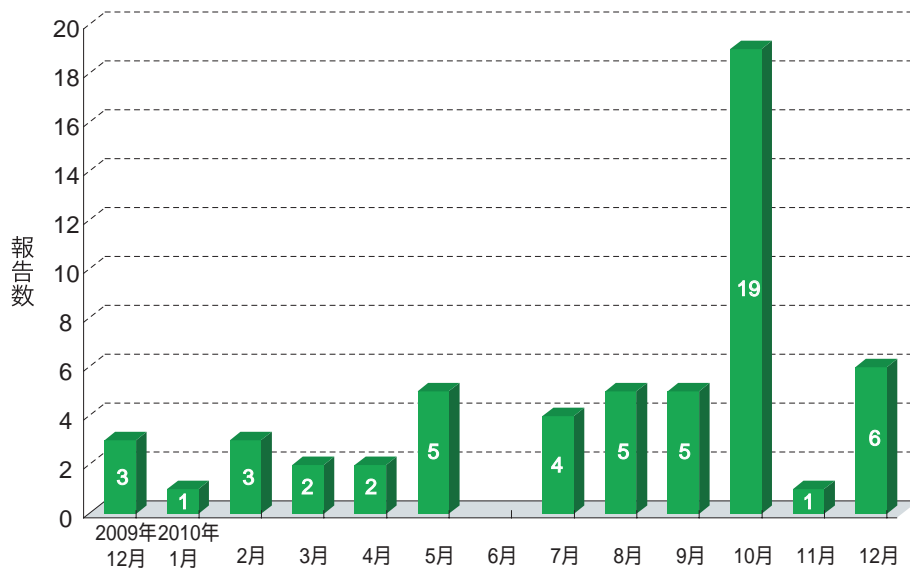
図2. 細菌性赤痢の性別・年齢群別・感染地域別報告数(2010年)



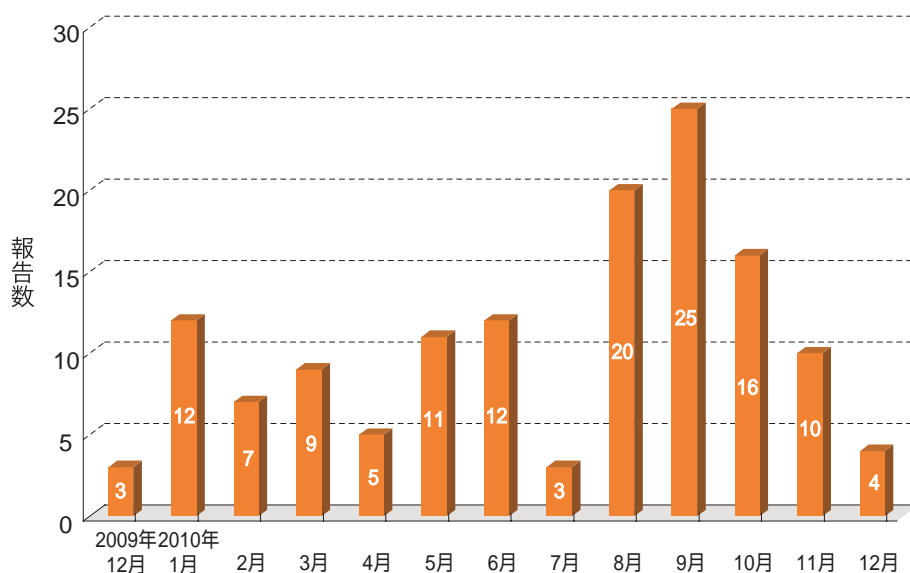
発症月は、10月を除いて毎月6例以下の報告であったが、10月は19例と際立った報告の増加を認めたと(図3(補1))。

図3. 細菌性赤痢の感染地域別・発症月別報告数(2010年)

国内 n=56 (無症状病原体保有者、発症月不明計15例を除く)

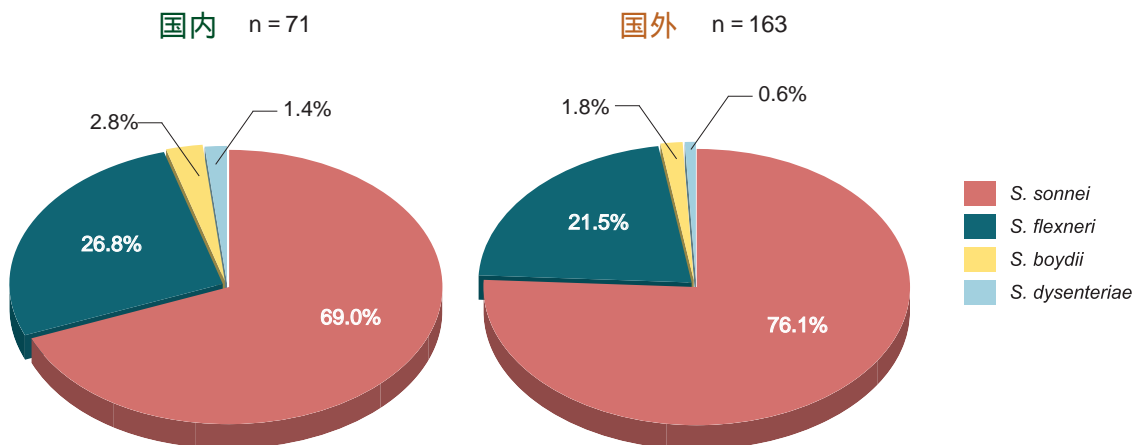


国外 n=137 (無症状病原体保有者、発症月不明計26例を除く)



検出された菌種は、*S. sonnei* 49例、*S. flexneri* 19例、*S. boydii* 2例、*S. dysenteriae* 1例であった(図4)。

図4. 細菌性赤痢の感染地域別にみた菌種割合(2010年)



国外感染例:

国外を感染地域とする報告は163例であった。感染地域別では、従来どおりアジアが134例(82.2%)と際立って多く、次いでアフリカ17例(10.4%)であった(図5)。国別では、アジアではインド、インドネシア、中国、ベトナムの順に多く、アフリカではエジプトが多かった(表1)。報告数の多い感染地域や感染国の傾向は、従来とほぼ同様であった。

図5. 細菌性赤痢の国外感染例の感染地域分布(2010年)

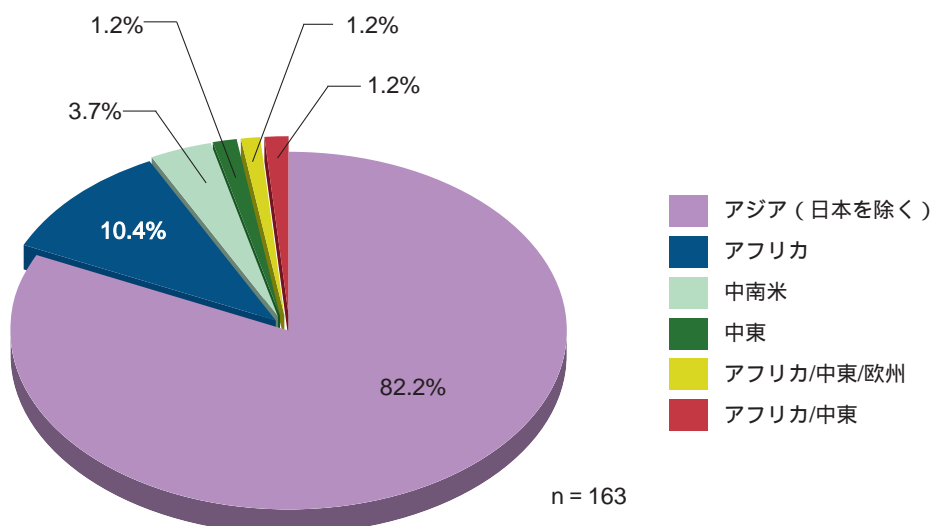


表1. 細菌性赤痢の感染地域・感染国別にみた菌種別報告数(2010年)

n=235

		A群 <i>S. dysenteriae</i> n=2	B群 <i>S. flexneri</i> n=54	C群 <i>S. boydii</i> n=5	D群 <i>S. sonnei</i> n=174	計 n=235
国内		1	19	2	49	71
国外		1	35	3	124	163
アジア	アジア(日本を除く)計	1	28	3	102	134
	インド		11	1	34 (35)	46 (47)
	インドネシア		4		17	21
	中国	1	3	1	15 (16)	20 (21)
	ベトナム		1 (2)		6 (8)	7 (10)
	フィリピン		2		4	6
	バングラデシュ				4 (6)	4 (6)
	ネパール			1	3 (4)	4 (5)
	タイ				3 (8)	3 (8)
	カンボジア			1 (2)	2 (5)	3 (7)
	ミャンマー			2	1	3
	パキスタン				2 (3)	2 (3)
	ラオス			1	1	2
	韓国			1	0 (1)	1 (2)
	台湾				1	1
	モンゴル			1		1
	スリランカ				1	1
アフリカ	アフリカ計		3		14	17
	エジプト		2		5	7
	モロッコ				6	6
	マリ		1			1
	ニジェール				1	1
	タンザニア				1	1
	マダガスカル				1	1
中南米	中南米計		4		2	6
	ブラジル		4			4
	メキシコ				0 (2)	0 (2)
	キューバ				0 (1)	0 (1)
	パナマ				0 (1)	0 (1)
中東	中東計				2	2
	ヨルダン				1	1
	トルコ				1	1
その他	その他計				4	4
	エジプト/トルコ/ギリシャ				2	2
	エジプト/ヨルダン				2	2
国内外不明					1	1

*国ごとの集計において、() 外の数値はその国のみを感染地とする報告数、() 内の数値はその国のみとその国を含む複数国を感染地とする報告数の合計

163例の性別は男性89例、女性74例で、年齢中央値は35歳(2～81歳)(男性のみ37歳、女性のみ31歳)であった。年齢群別では、10歳未満10例、10代5例、20代49例、30代43例、40代20例、50代18例、60代14例、70代3例、80代1例であり、特に20代、30代が多い傾向は従来どおりであった(図2)。

発症月は、9月 25例)、8月 20例)、10月 16例)、1月、6月 各12例)の順に多く(図3)、明らかな集団感染事例の報告はなかった。

検出された菌種は、*S. sonnei* 124例、*S. flexneri* 35例、*S. boydii* 3例、*S. dysenteriae* 1例であった(図4)。日本を含む感染国別の報告数を、菌種別に表に示した(表1)。

国外感染例の診断及び報告数の増減に関しては、流行の発生や流行地への渡航者数など様々な要因の関与が考えられるが、検疫法改正によりコレラが検疫感染症でなくなったことから、2007年6月以降は、検疫所で下痢などの申し出のあった者に対する検便が実施されなくなった。有症状者であっても、症状が軽いなどの理由で入国後に医療機関を受診しない者もいることが予測されるので、この点も報告数減少に影響する一要因として考慮する必要があると考えられる。検疫所からの届出は、2006年(4月～)は国外感染例として報告された283例中105例、2007年は288例中81例(うち1～5月が71例)、2008年は196例中なし、2009年は126例中なし、2010年も163例中1例もなかった。

症状：

患者220例について、報告された症状をみた。届出票にあらかじめ記載されている症状では、下痢210例(95.5%)、発熱155例(70.5%)、腹痛115例(52.3%)、膿粘血便43例(19.5%)、しぶり腹35例(15.9%)であった(表2)。膿粘血便は、原因菌種が *S. flexneri* の症例(31.4%)で *S. sonnei* の症例(16.7%)に比して高率であり、しぶり腹も *S. flexneri*(19.6%)が *S. sonnei* (14.8%)よりも高率であった。また、その他の症状として自由記載されていたものでは、嘔気・嘔吐15例(6.8%)が多かった。これらは昨年までの傾向と比較して大きな変化はなかった。

一方、無症状病原体保有者15例の菌種は、*S. sonnei* 12例(同菌種総数174例の6.9%)、*S. flexneri* 3例(同54例の5.6%)であった。

表2. 細菌性赤痢患者(有症状者)の菌種別臨床症状報告数(2010年)

n=220

	<i>S. dysenteriae</i> n=2	<i>S. flexneri</i> n=51	<i>S. boydii</i> n=5	<i>S. sonnei</i> n=162	総数 n=220
下痢	2	49	5	154	210
発熱	0	36	4	115	155
腹痛	2	27	1	85	115
膿粘血便	0	16	0	27	43
しぶり腹 (テネスムス)	1	10	0	24	35
嘔気・嘔吐	0	5	0	10	15
頭痛	0	0	0	3	3

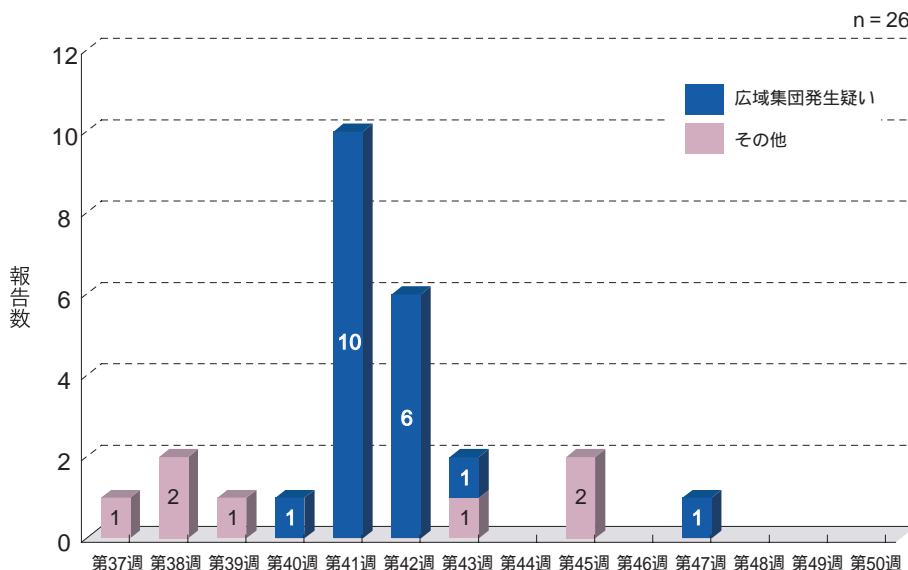
複数回答あり

赤痢菌は腸管出血性大腸菌と同様に、微量の菌により感染が成立するため、感染が拡大しやすく、健康被害も生じやすい。特に小児や高齢者では重症化しやすいので注意が必要である。近年日本で発生している細菌性赤痢の半数以上は国外感染であり、国内感染についてはそれらの国外感染者からの二次感染や輸入食品の汚染による国内感染が推測されている。細菌性赤痢の感染予防策としては、十分な加熱調理や石鹸による手洗いの励行が基本である。渡航に際しては、渡航先の流行状況を把握すると共に、流行地へ渡航する場合には生水、氷、生の魚介類、生野菜、カットフルーツなどを避けることが肝要である。さらに二次感染を防ぐためには、患者や無症状病原体保有者を早期に探知して治療し、排菌しなくなったことを確認する必要がある。

(補1)

2010年10 ~ 11月 第40 ~ 47週)は国内感染例の*S. sonnei*が東北から九州にわたる12都道府県から22例報告された(図6)。そのうち、感染源として海産物が推定される症例が多く、かつ菌株の解析により16例でMLVA(Multiple-locus variable-number tandem repeat analysis)が一致、他に3例は2遺伝子座以内の類似性を示した。同一の感染源による広域集団発生が疑われたが、原因食材は明らかにならなかった。

図6. 細菌性赤痢の国内感染例 *S. sonnei* の診断週別報告数
〔 2010年第37(9月13日 ~)50週(~ 12月19日)〕



(補2)細菌性赤痢のサルへの報告

細菌性赤痢はサルの間にも感染がみられ、ヒトへの感染源となり得るため、2004年10月1日施行の感染症法施行令の改正により、細菌性赤痢のサルを診断した獣医師に届出が義務づけられた。2004年には報告はなく、2005年に5都道府県から45例、2006年に6都道府県から45例、2007年には3都道府県から51例、2008年には4都道府県から29例、2009年には2都道府県から34例の報告、2010年は5都道府県から59例の報告(2011年4月28日現在)があった。報告されたサルのほとんどは輸入後の検疫(法定検疫または自主検疫)によって発見されたものである。

コクサッキーウイルスA6型による手足口病の流行 - 高知県

高知県における2011年の手足口病の患者発生は、年初から高知市内を中心に散発的な患者報告のみであったが、第22週に高知市内で注意報に、第25週には幡多地区で警報、安芸、中央東、中央西地区において注意報となり、県内全域でも注意報値を超える2.73となった。第28週には幡多地区だけでなく高幡、高知市、中央西地区が警報値を超え、県全体が警報レベルの5.0以上の報告患者数となった。患者報告数における増加傾向は、2010年の手足口病の流行と非常によく似ている。

2011年第1週～第28週までの手足口病およびヘルパンギーナ患者81検体(咽頭ぬぐい液79検体、糞便2検体)についてウイルス検索を実施したところ、スクリーニング用プライマー¹⁾によるPCR法でエンテロウイルス陽性検体が72検体検出された。このうち咽頭ぬぐい液1検体からLLC-MK2細胞の第2世代で細胞変性が認められ、中和抗体により、コクサッキーウイルスA6型(CA6)が1株検出された。細胞に反応の見られなかった検体はエンテロウイルスVP1領域を増幅するCODEHOP VP1 RT-semi-nested PCR法²⁾を実施した。十分な増幅産物が確認できた咽頭ぬぐい液由来33株について、ダイレクトシークエンスによるVP1領域約290塩基の塩基配列を決定した。これらをBLAST検索したところ、33株はすべてGenBankに登録されているCA6と95～98%の相同性を示し、さらに高知県で今年検出された株間の相同性も98～100%であった。

エンテロウイルス属であるCA6は、おもにヘルパンギーナの原因ウイルスとされている。しかしながら、本年の感染症サーベイランスにおいて分離されたCA6は、臨床診断名が手足口病検体から28株、ヘルパンギーナ検体から6株であった。また、高知県において2005年に本年と同様の流行を経験しており³⁾、今後の動向に注意が必要である。

参考文献

- 1) 谷脇妙ら, 高知県衛生研究所報 54 : 29-34, 2008
- 2) Nix WA, *et al.*, J Clin Microbiol 44 : 2698-2704, 2006
- 3) 千屋誠造ら, 高知県衛生研究所報 51 : 37-41, 2005

高知県衛生研究所

松本一繁 谷脇 妙 藤戸亜紀 鍋島 民 細見卓司 松本道明 今井 淳

(IASR 2011年9月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)



海外感染症情報

*WHOのEPR(Epidemic and Pandemic Alert and Response)による、感染症アウトブレイクニュース等を掲載しています。

インフルエンザ

2011年8月12日 - 更新140

【要約】

- ・北半球の温帯地域諸国におけるインフルエンザの活動性は、低いもしくは検出できない程度である。
- ・熱帯地域諸国においては低いレベルの活動性の報告がほとんどであるが、アメリカ(ドミニカ共和国、コロンビア、ブラジル)、アフリカ西部(ガーナ、カメルーン)およびアジア南部諸国(インド、バングラデシュ、タイ、シンガポール)においては、若干の感染伝播が報告されている。
- ・南アフリカ共和国における伝播は低いレベルまで減少している。オーストラリアでは、インフルエンザ様疾患(ILI)の受診者数と確定症例数が、インフルエンザウイルスA(H1N1)2009とインフルエンザウイルスB型が混合して増加しているが、地域によって状況は異なる。ニュージーランドにおけるILIの活動性はベースラインを若干超えており、ウイルスのほとんどはインフルエンザウイルスB型である。

【北半球の温帯地域諸国】

北半球温帯地域でのインフルエンザシーズンは終息した。この地域のほとんどすべての国において、インフルエンザの活動性報告は低いレベルか全くない状況にある。

【熱帯地域諸国】

中央及び熱帯地域にある南アメリカでは、数カ国からインフルエンザウイルスA(H1N1)2009、インフルエンザウイルスA(H3N2)、インフルエンザウイルスB型の低いレベルでの混合流行が報告された。ドミニカ共和国では、最近報告されたインフルエンザの伝播は減少しつつある。呼吸器系ウイルスの陽性検体の割合は以前の週より少なくなっており、以前の週ではインフルエンザウイルスA(H1N1)2009が主要な型であったが、インフルエンザウイルスB型が今週検出された唯一のウイルスであった。インフルエンザウイルスA(H1N1)2009の散発例の報告がコスタリカ、ホンジュラス、パナマであった。コロンビアでは、インフルエンザウイルスA(H1N1)2009が優位なウイルスであり、ブラジルでは、インフルエンザウイルスA(H1N1)2009とインフルエンザウイルスA(H3N2)が検出されていて、A(H3N2)が優位である。

サハラ以南のアフリカにおいては、西部においてインフルエンザの伝播が継続している。ガーナではインフルエンザウイルスB型優位の活発な伝播が、少数のインフルエンザウイルスA(H1N1)2009と混在して見られている。カメルーンもここ数週間でインフルエンザウイルスB型が増加していると報告している。ナイジェリアでは3種類のインフルエンザウイルスの流行がこの1カ月で減少している。マダガスカルでは年初のインフルエンザウイルスB型の大きな流行に続いて、最近ではインフルエンザウイルスA(H1N1)2009の2次的な上昇を報告しており、それも現在では減少しているように思われる。この国では1月下旬と2月上旬に最も多く患者が出る形でこの一年間インフルエンザウイルスが持続的に検出されている。

アジアの熱帯諸国でのインフルエンザの活動性は、いくつかの地域限局的な感染伝播は見られるものの、そのほとんどで全体として引き続き低い状況にある。中程度の数のインフルエンザウイルスA(H3N2)がごく少数のインフルエンザウイルスA(H1N1)2009とインフルエンザウイルスB型と一緒にバングラデシュ、インド、シンガポールやタイから報告されている。シンガポールにおいては、ILIはポリクリニックス(Polyclinic)を受診する急性呼吸器疾患例のわずか2%であり低いレ

ベルと考えられるが、過去4週間においてはILI症例の49%がインフルエンザウイルス陽性であった。ILI症例から検出されたインフルエンザウイルスの83%はインフルエンザウイルスA(H3N2)で、インフルエンザウイルスA(H1N1)2009とインフルエンザウイルスB型はそれぞれ陽性例の11%、6%であった。ベトナムはインフルエンザウイルスA(H1N1)2009の持続的な伝播を報告している。

【南半球の温帯地域諸国】

・南アメリカ地域

南アメリカ温帯地域諸国でのインフルエンザ流行は低いレベルにある。チリではILIの活動性はここ3～4週間は増加してきており、主にインフルエンザウイルスA(H1N1)によるものであるが、救急部門におけるILIの活動性や呼吸器疾患受診数は低レベルのままである。インフルエンザによる死亡は報告されていない。アルゼンチンにおいては、インフルエンザウイルスの検出は同期間で増加しているが低値のままであり、ウイルスの多くは未分類のままである。これらのうち、インフルエンザウイルスA(H3N2)とインフルエンザウイルスA(H1N1)2009の混在が報告されている。ILI、重症急性呼吸器感染症(SARI)及び肺炎の割合はいずれも2010年の同時期に報告されてきたものより全国的に低いレベルである。パラグアイにおいては、ILIの受診者の割合は前週(7.5%以下)と同様で、SARIの入院例とSARIの集中治療室入院例の割合はそれぞれ若干減少し、それぞれ5%、15%以下となっている。ウルグアイでのSARIの入院例の割合は増加しているが全入院の5%以下である。SARIの集中治療室入院例やSARIによる死亡例の割合は減少している。インフルエンザウイルスA(H1N1)2009はここ数週間にウルグアイで検出されたもっとも一般的なインフルエンザウイルスである。

・アフリカ南部地域

南アフリカ共和国におけるインフルエンザの流行は減少しており、現在の活動性は低い。インフルエンザ流行期にはインフルエンザウイルスA(H1N1)2009を優位に認め、インフルエンザウイルスB型も少数認めていた。

・オーストラリア、ニュージーランド及び南太平洋諸国

ILIの受診者数はオーストラリア全体で増加し続けており、特にクイーンズランド州及びニューサウスウェールズ州、南オーストラリア州からは非常に多いインフルエンザの検査確定例が報告されている。2011年7月22日までに、国家疾患サーベイランスシステム(National Notifiable Diseases Surveillance System : NNDSS)では、2010年の同時期の1,571例よりかなり多い10,060例のインフルエンザ確定症例を報告している。しかしながら、今年は全ての州で夏の間にいつもより多くの症例が報告されていて、特に北部特別地域とクイーンズランド州で著明で、シーズンがとて早く始まった。ニューサウスウェールズ州の救急部におけるILIの受診者の割合は前週の1,000例当たり2.5例より少し高く1,000例当たり3例であったが、全集中治療室入院例は州内のこの時期としては通常範囲内であった。NNDSSは今年はこれまでに7例のインフルエンザ関連死亡を報告しており、6例がインフルエンザウイルスA(H1N1)2009、1例がインフルエンザウイルスA型(亜型不明)によるものであった。冬のインフルエンザシーズンの早期である2011年7月8日までの死亡登録データでは、ニューサウスウェールズ州の10万人当たり1.6人が肺炎もしくはインフルエンザ関連死亡を示しており、10万人当たり1.8人のシーズン閾値より下であった。2011年7月1～28日までの間、オーストラリア小児サーベイランスユニットは13例の小児重症インフルエンザ合併症症例を報告しており、そのうち7例は集中治療室に入院していた。これらの入院例の大部分は

インフルエンザウイルスA(H1N1)2009に関連して、データが確認できた8例の入院例のうち4例で慢性疾患が認められた。オーストラリアで検出されたウイルス型は国全体で一様ではなかった。クイーンズランド州やニューサウスウェールズ州ではインフルエンザウイルスA(H1N1)2009が優位でありインフルエンザウイルスB型も認めており、南オーストラリア州ではインフルエンザウイルスB型は報告数の72%を占めるほど優位である。インフルエンザの確定診断例の報告数は現在、他の州でも増加している。

ニュージーランドでは国全体のILI受診者の割合は10万人当たり66.1人(261例のILI受診者)であり、ベースラインを超えている。今年のインフルエンザシーズンに国全体で報告された受診率は、シーズンはまだかなり早いけれども、昨年報告されたものと同程度である。インフルエンザB型がニュージーランドで検出されたインフルエンザウイルスの大部分を占めている。

【査読された(信頼できる)文献より】

The American Journal of Infection Control(感染管理に関する米国のジャーナル)の最近の記事では、強制的なワクチン接種策による医療従事者のワクチン接種率を増加させるための米国の大都市にある大学病院での努力について報告している。看護室でワクチン接種をするための『注射隊』を使ってワクチン接種を増加させようという以前行われた努力では、接種率は51%であった。医療従事者への強制的なワクチン接種策では、患者への伝播予防における手洗いとワクチン接種の重要性を強調するために、手の衛生キャンペーンと接種のキックオフフェアが同時に行われた。フェアは情報を伝えたりインフルエンザワクチンに関する俗説を一掃させるために使われた。計画を成功させるための鍵となる手順はレポートに述べられている(下記*参照)。接種免除の要求は免除委員会によって個別ごとの基準で考慮された。このプログラムでは最終的にすべての病院職員に100%の順守を達成して、インフルエンザシーズンの間の欠勤時間は前年と比較して8,000時間も減少できた。

コメント: WHOは医療従事者の強制ワクチン接種に関して特別に推奨はしないが、組織は合併症になる危険が高い状況にある個人へのインフルエンザ伝播を減らすため、また医療サービスの必要が高いときに医療従事者が欠勤するのを減らすため、医療提供者へのワクチン接種を推奨し続けるべきである。

* : Kidd F. et al. From 51% to 100%: *Mandatory seasonal influenza vaccination*. Am J Infect Control 2011 ; in press : 1-3. doi : 10.1016/j.ajic.2011.02.022

【ウイルス学的サマリー】

第29 ~ 30週(2011年7月17 ~ 30日)において、インフルエンザの活動性は南半球のいくつかの国で高くなっていった。

オーストラリアでは検査確定例が着実に増加していることが観察され、国のほとんどの地域ではインフルエンザウイルスA(H1N1)2009とB型が認められ、南オーストラリアやニュージーランドではB型が優位であった。南アフリカ共和国ではインフルエンザシーズンは前週でピークに達しており、検査確定例数は減少してインフルエンザウイルスA(H1N1)2009の散発的な活動が認められた。南アメリカでは、ボリビア、アルゼンチンとブラジルでインフルエンザウイルスA(H1N1)2009とA(H3N2)の流行が低いレベルで報告されている。チリとウルグアイではインフルエンザウイルスA(H1N1)2009の増加がシーズンの予想範囲内で観察された。中央アメリカとカリブ海諸国ではインフルエンザウイルスA(H1N1)2009、A(H3N2)及びB型が低い活動性で変動しながら

検出されていることが報告され、ドミニカ共和国でのインフルエンザウイルスB型、そしてキューバでのインフルエンザウイルスA(H3N2)の散発例の検出もみられた。

北半球全体では、インフルエンザの活動性は非常に低いレベルである。

最近検出報告された大部分のインフルエンザウイルスの抗原性は、2010～2011シーズンの北半球及び2011シーズンの南半球におけるWHOのワクチン推奨株の抗原性に類似している。

第29～30週(2011年7月17～30日)において、52の国と地域の国家インフルエンザセンター(National Influenza Centres : NICs)のFluNetへの報告によれば、インフルエンザウイルス陽性検体1,009のうち、685(67.9%)検体はインフルエンザウイルスA型、324(32.1%)検体はインフルエンザウイルスB型であった。亜型別されたインフルエンザウイルスA型のうち、51.8%はインフルエンザウイルスA(H1N1)2009、48%はインフルエンザウイルスA(H3N2)型であった。

鳥インフルエンザ - カンボジアにおける状況

2011年8月19日 - 更新6

カンボジア保健省は、鳥インフルエンザウイルスA(H5N1)の感染確定例を報告した。

症例はコンボンチャム州(Kampong Cham Province)チャンプレイ郡(Cheung Prey District)メプリン町(Mepring Commune)タイスレン村(Taing Thleung Village)の6歳の女児であった。

女児は8月7日に発症、当初は地元で治療されていたが改善せず、その後、8月12日にプノンペン(Phnom Penh)のカンタボパ小児病院(Kantha Bopha Children Hospital)へ入院し、入院2日後の8月14日に死亡した。

女児の村では鳥の死亡が報告されており、この女児も病鳥に接触していた。女児はカンボジアにおいてH5N1ウイルスに感染した18例目で、この疾患の合併症による死亡は16例目である。本年のカンボジアにおけるH5N1のヒト感染者は8例で、すべて死亡している。

国及び地元の早期対応チーム(Rapid Response Teams : RRT)は、アウトブレイク調査を実施し、国の指針に従って対応している。健康教育が地域において実施されている。現在のところ、患者の接触者でA(H5N1)ウイルスが陽性であったものはいない。



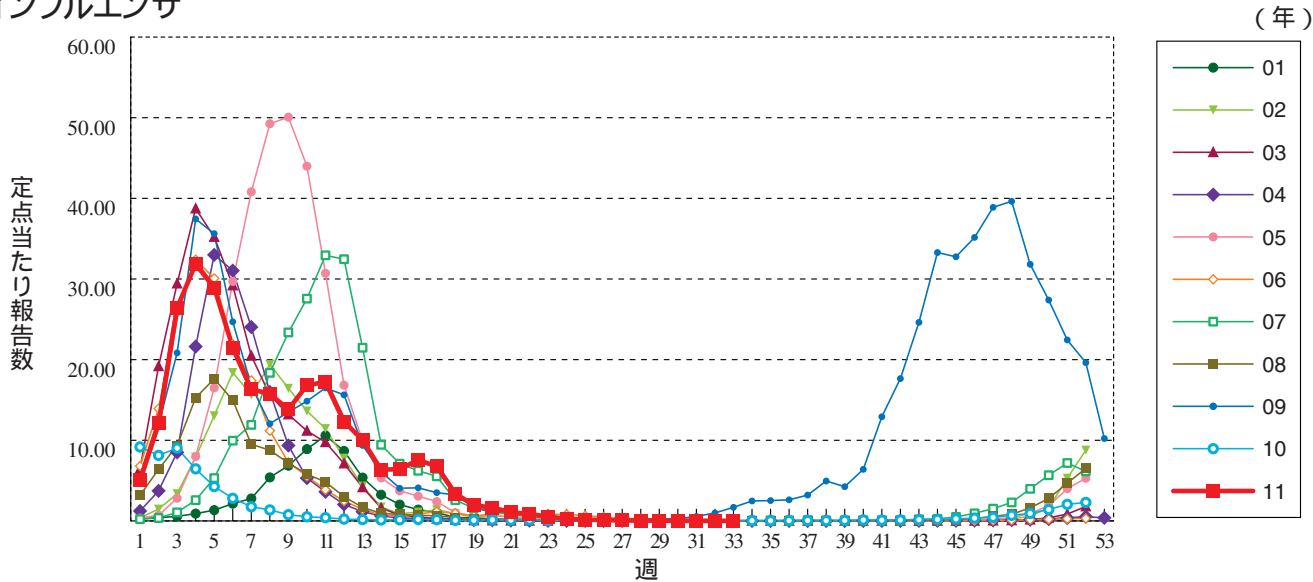
感染症の話

今週はお休みさせていただきます。
「感染症の話」過去の掲載分については
<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/index.html>
でご覧いただけます。

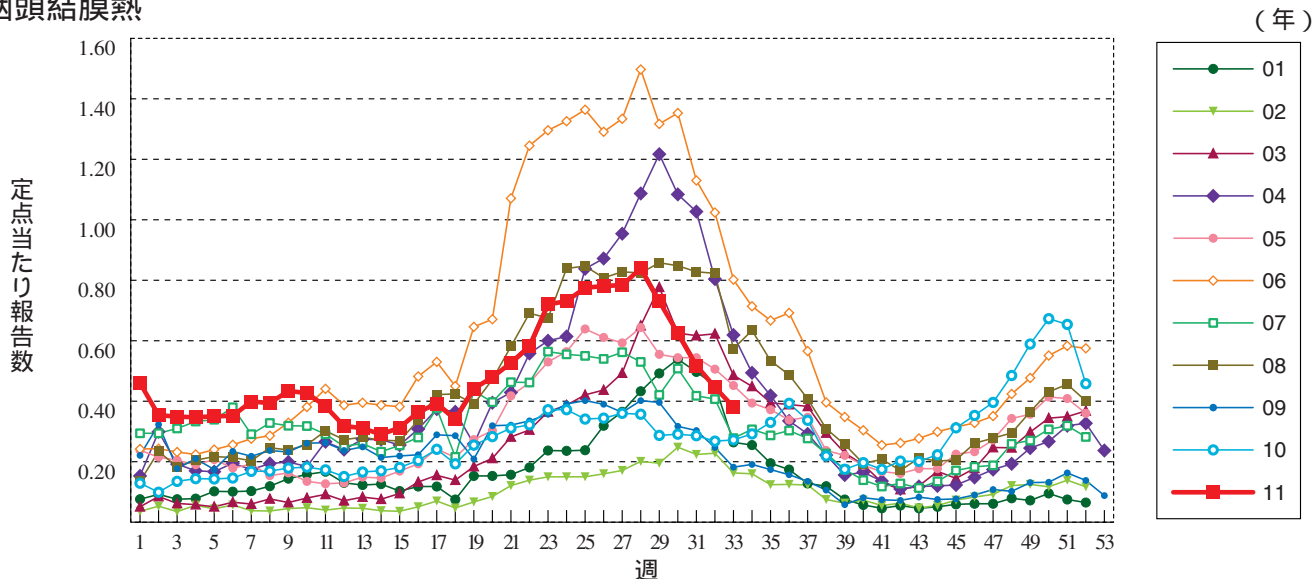


グラフ総覧(33週)

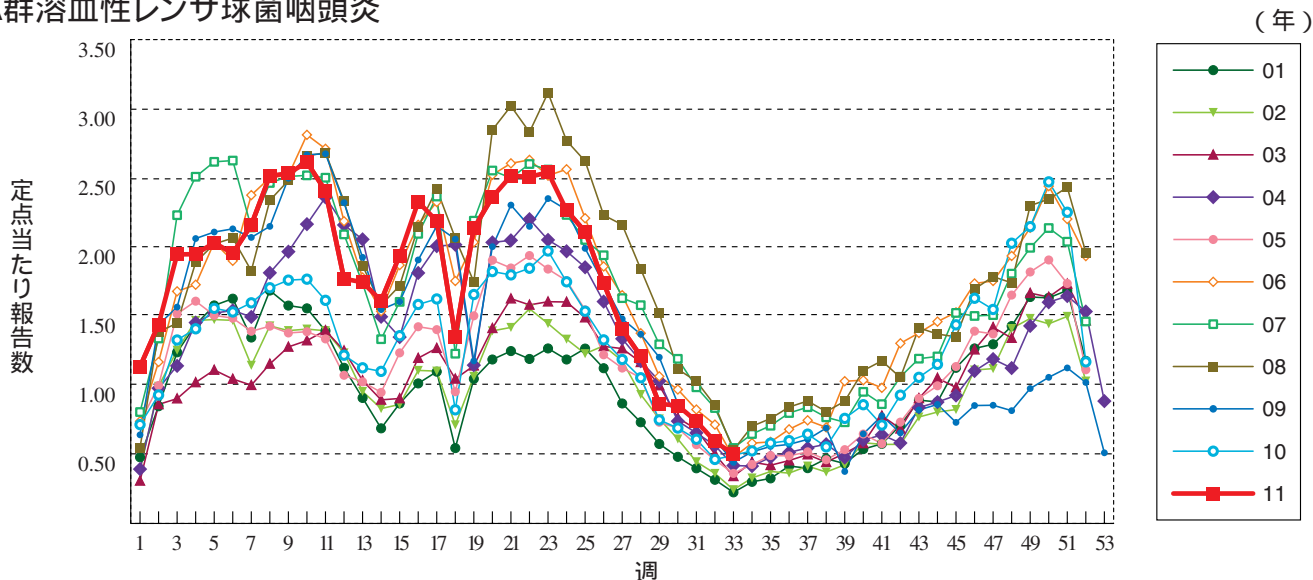
インフルエンザ



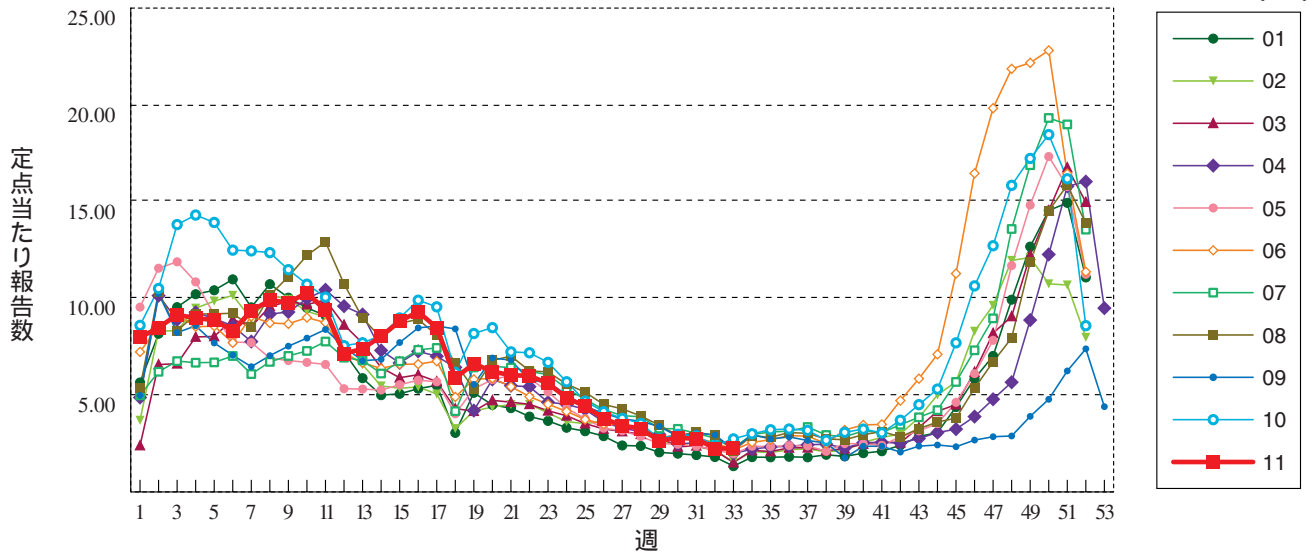
咽頭結膜熱



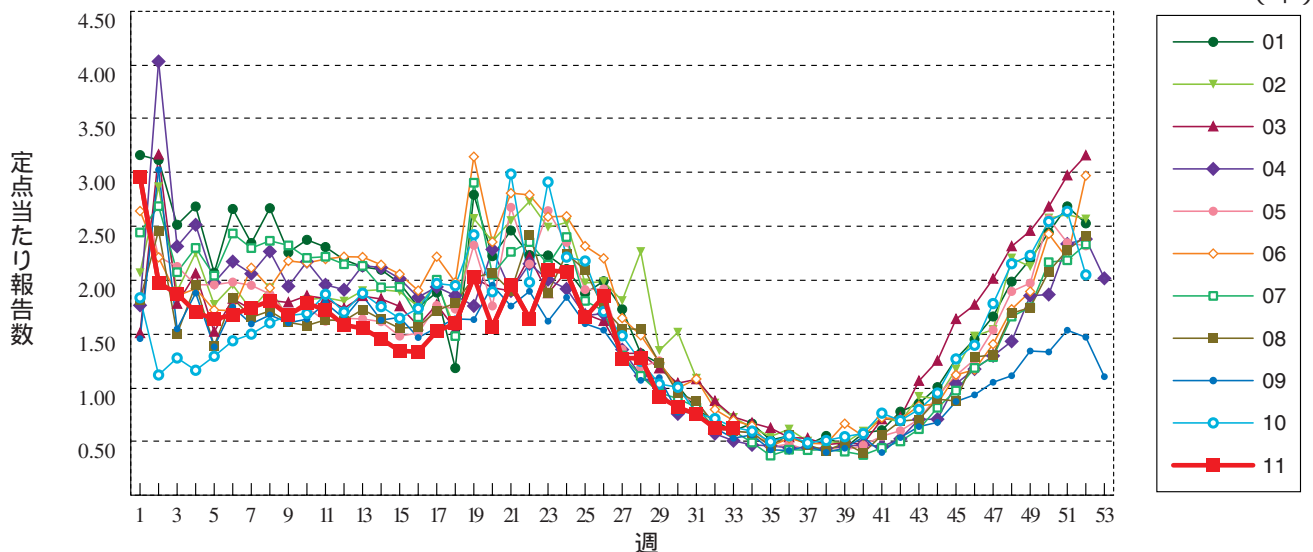
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



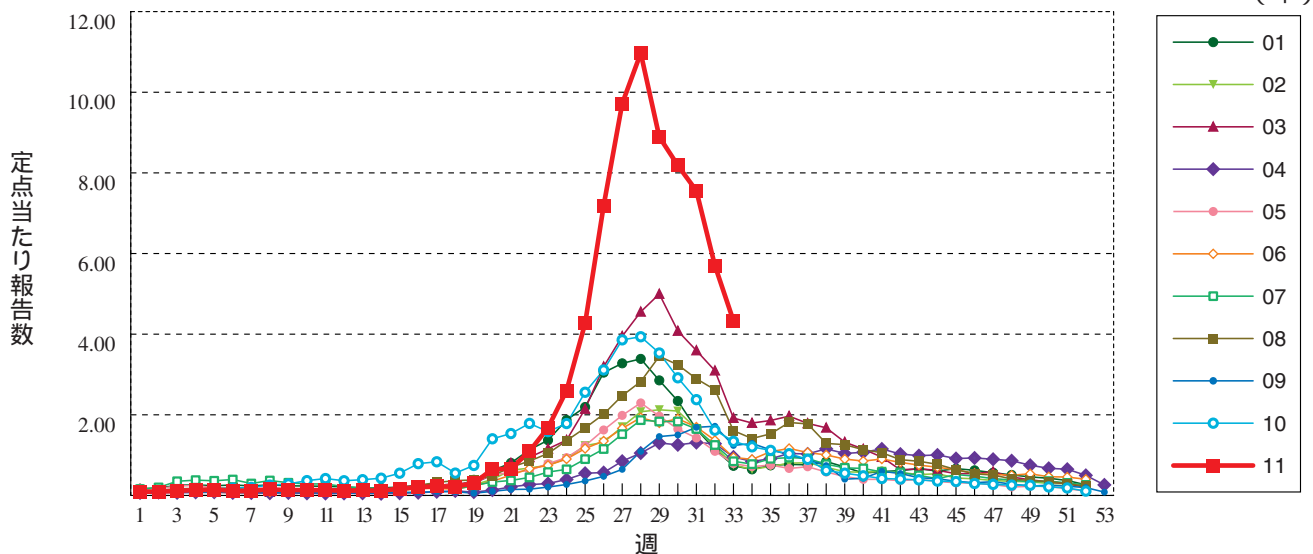
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



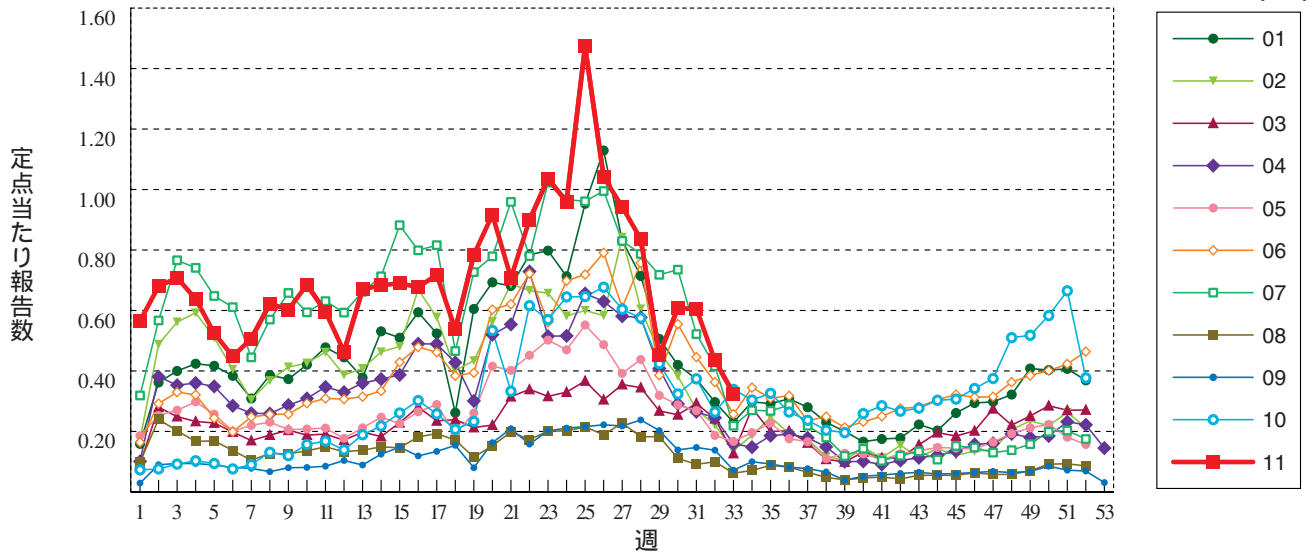
水痘



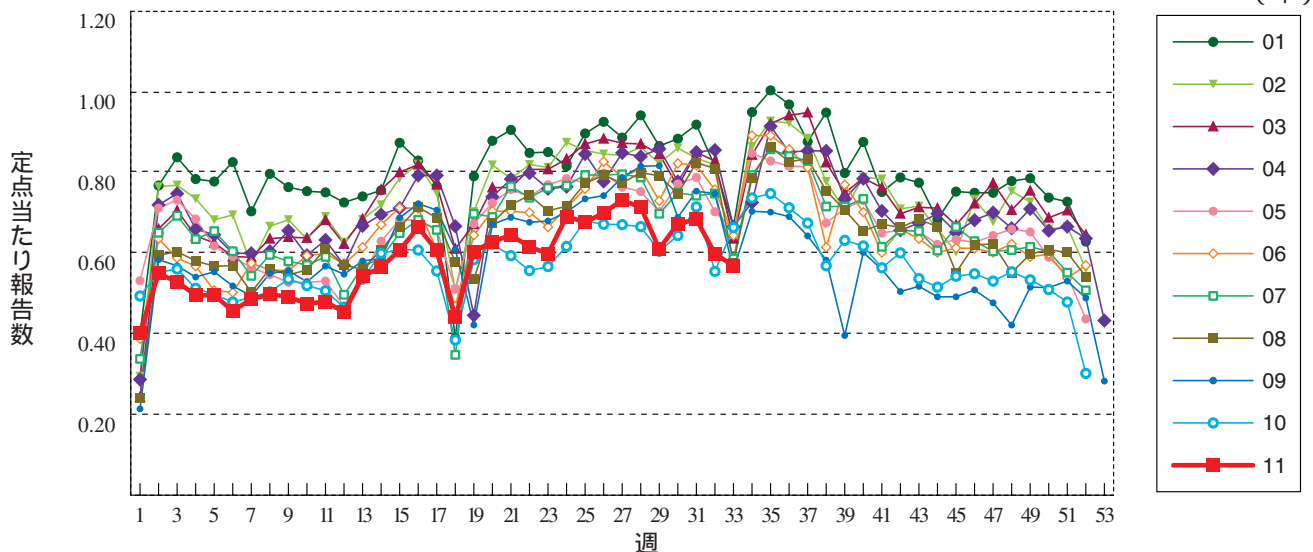
手足口病



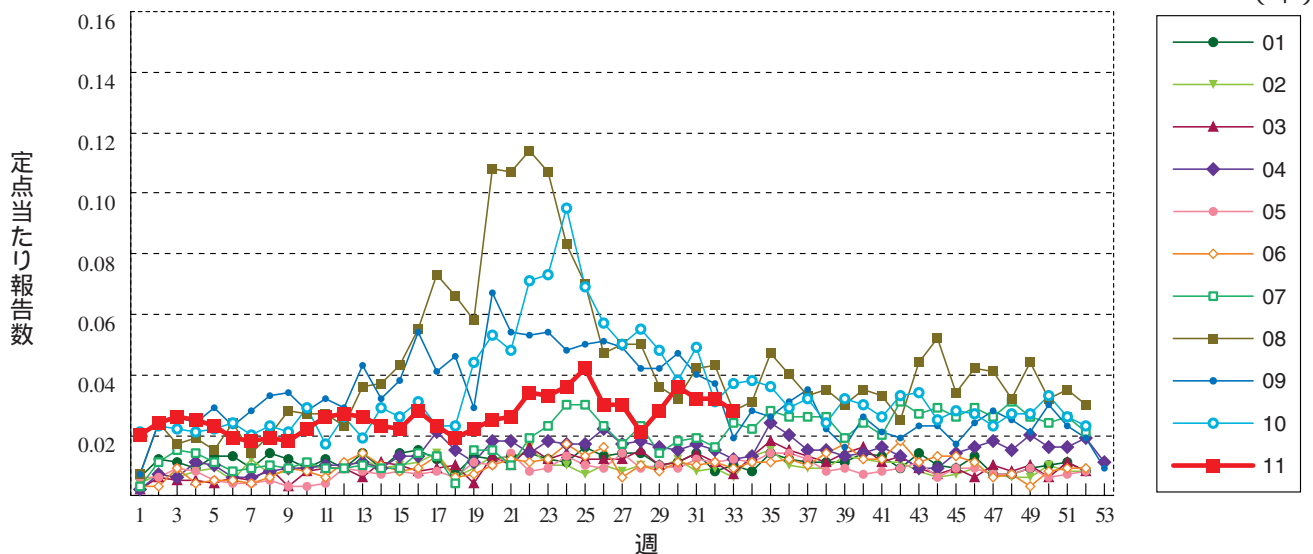
伝染性紅斑



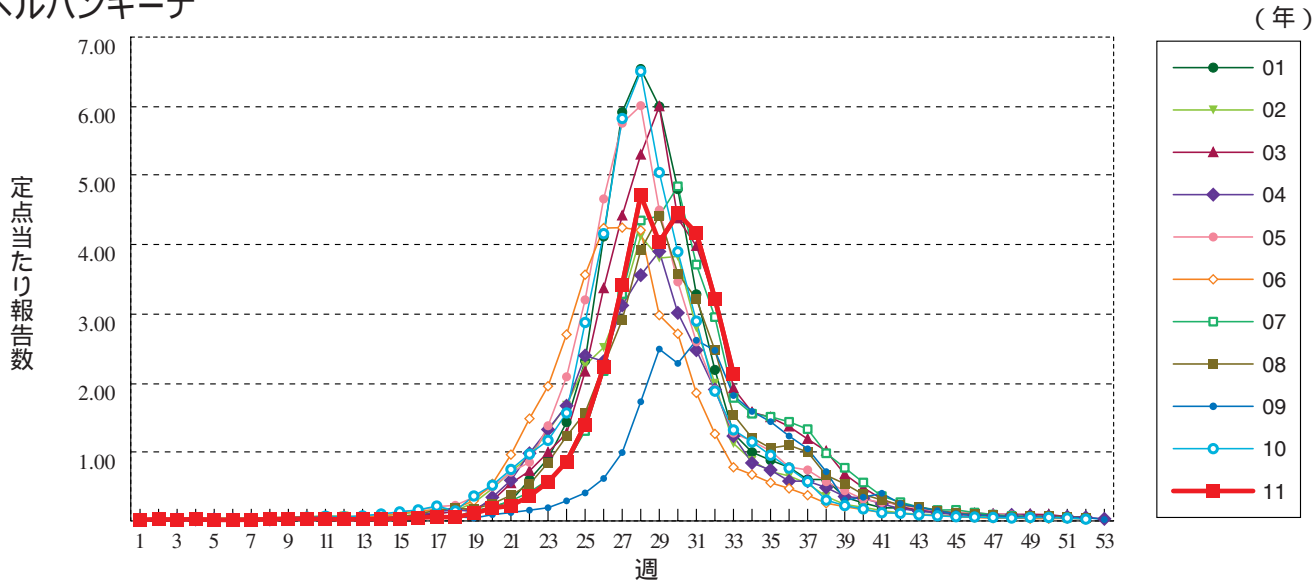
突発性発しん



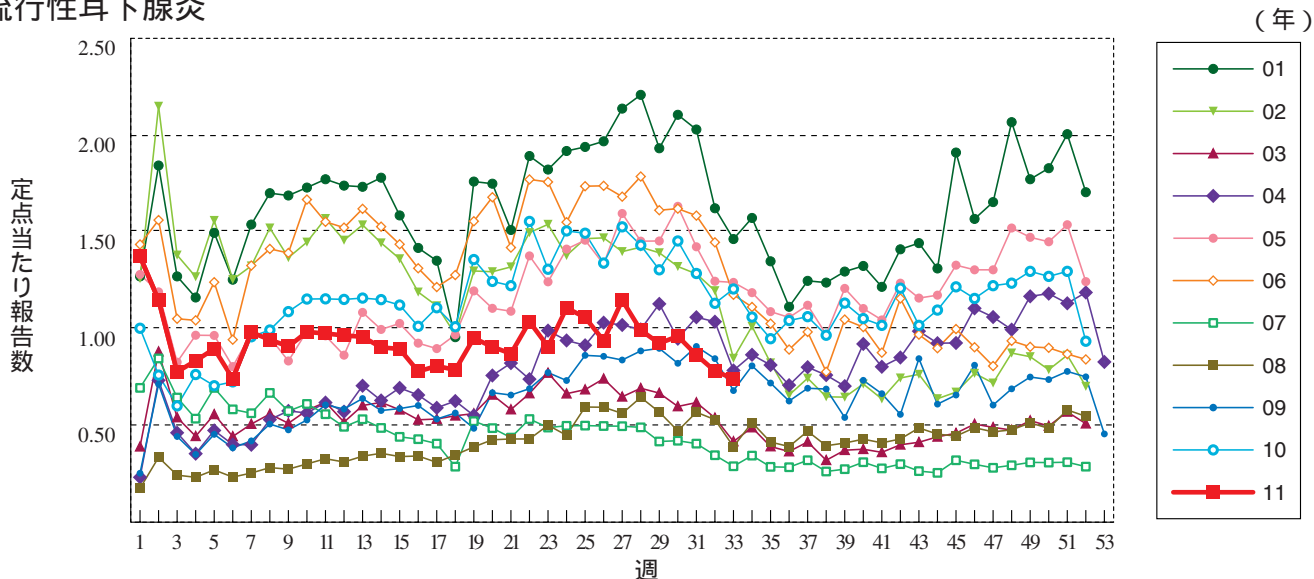
百日咳



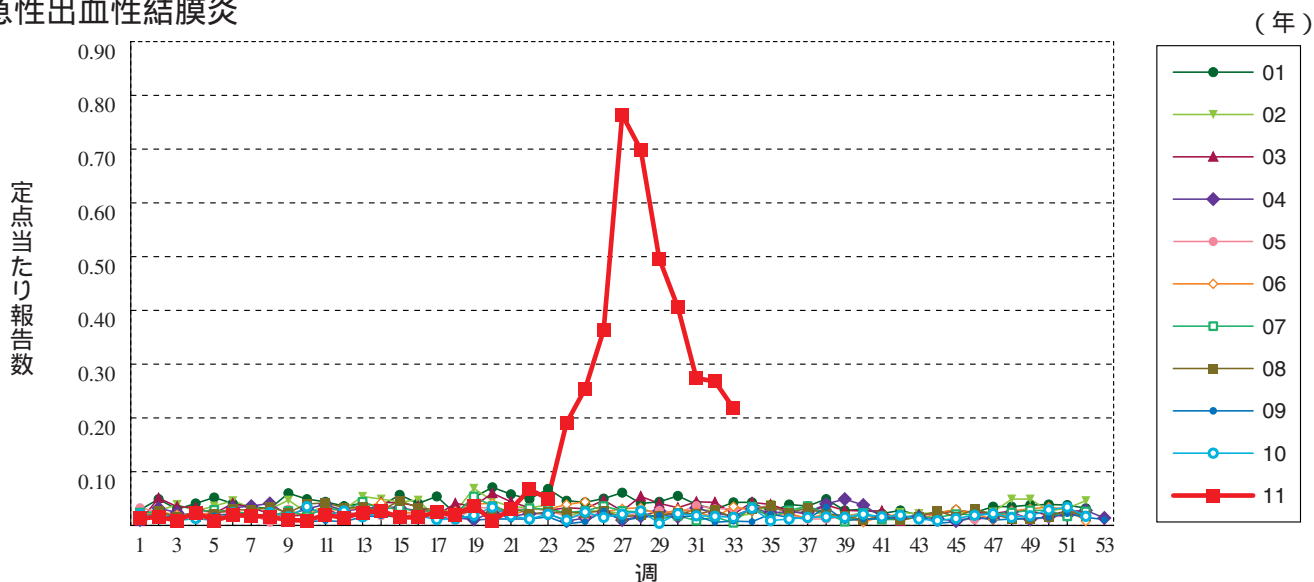
ヘルパンギーナ



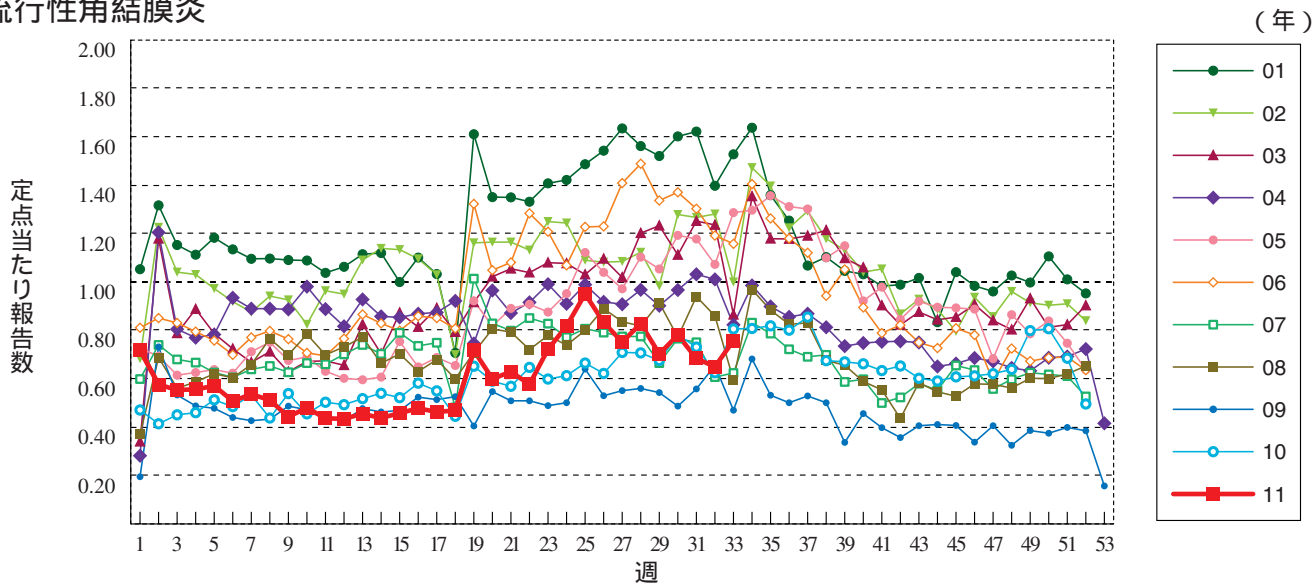
流行性耳下腺炎



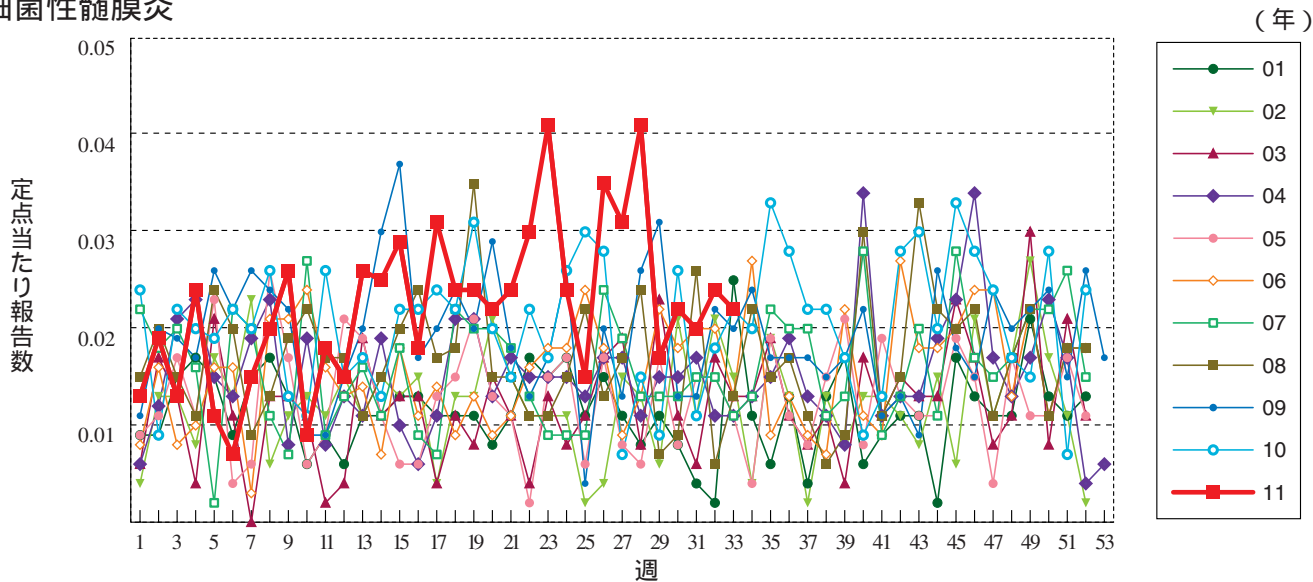
急性出血性結膜炎



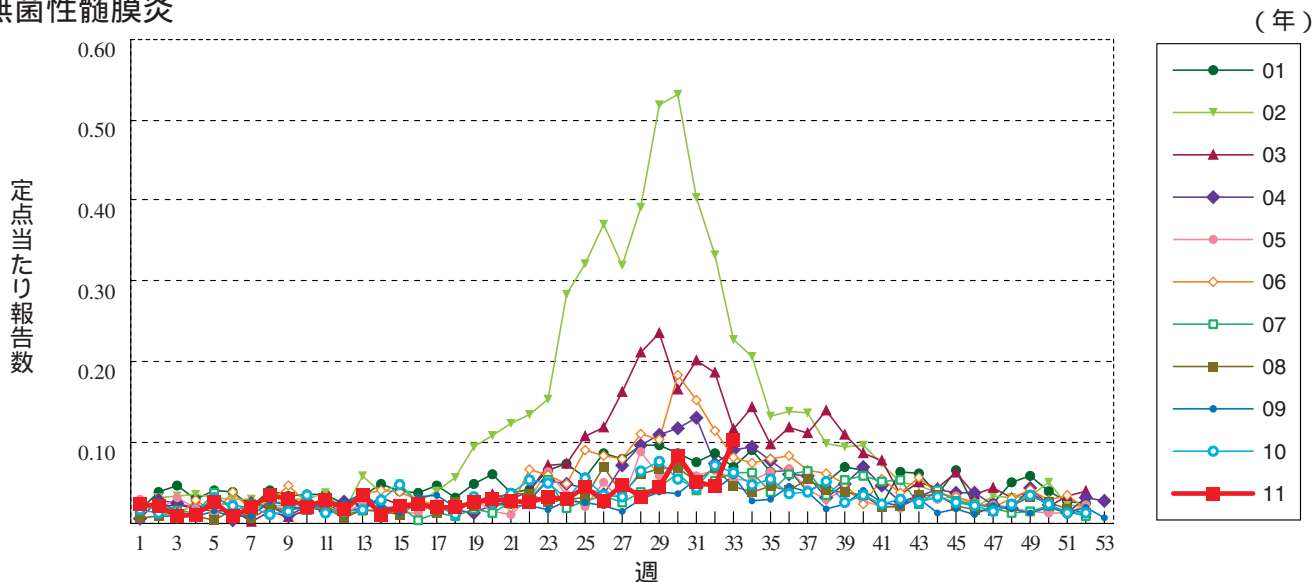
流行性角結膜炎



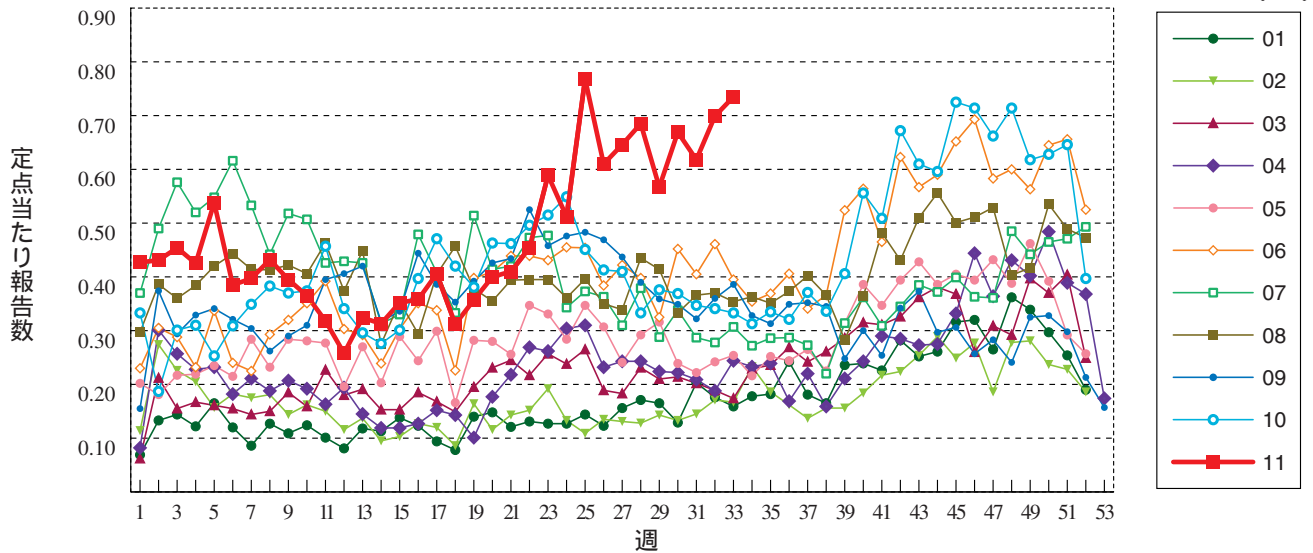
細菌性髄膜炎



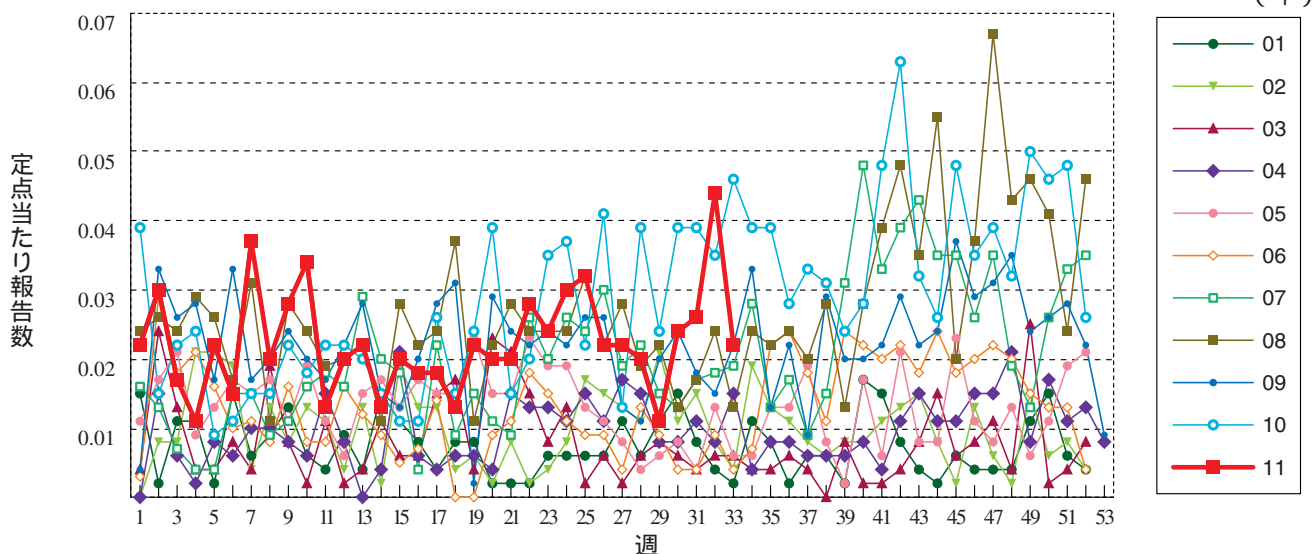
無菌性髄膜炎



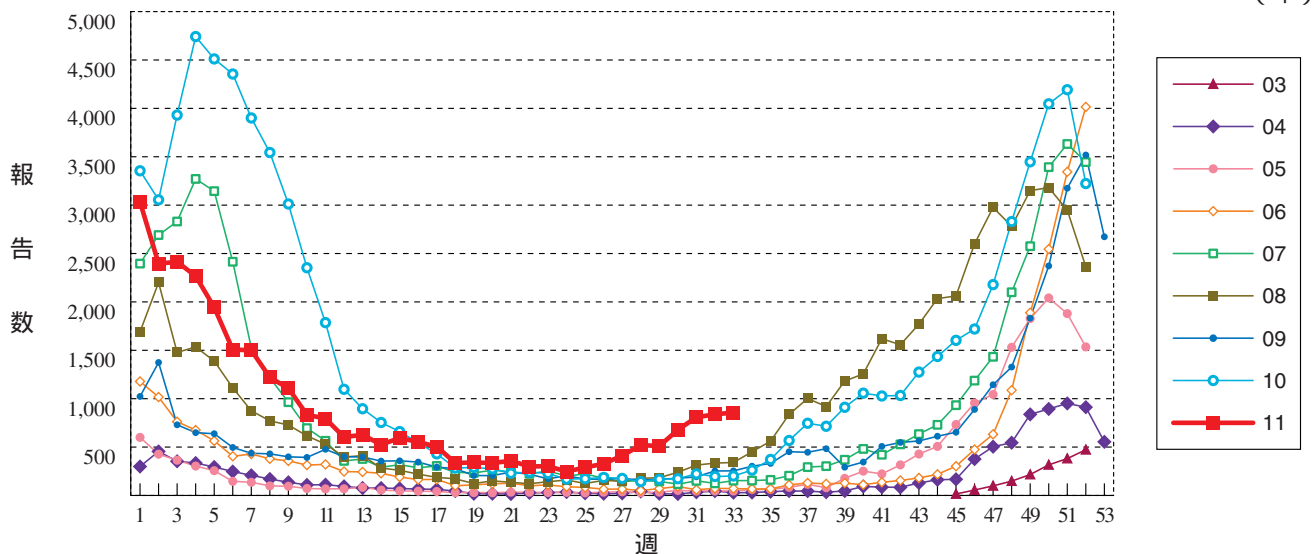
マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎(オウム病を除く)



RSウイルス感染症 定ポイントあたり報告数ではなく、報告数を示しています。





33週のデータ

注) 表中の報告数は8月24日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。
 新型インフルエンザは掲載していません。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2011年33週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		痘 そう		南米出血熱		ペ ス ト		マールブルグ病		ラッサ熱		急性灰白髄炎		結 核	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	327	18925
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	635
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	266
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	103
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	216
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	152
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	174
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	193
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	378
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	224
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	136
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18	957
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	30	926
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	53	2980	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	1332
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	248
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	141
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	177
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	111
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	87
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	236
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	362
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	464
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	29	1293
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	214
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	198
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	413
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	905
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	724
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	205
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	310
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	85
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	145
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	323
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	543
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	202
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	128
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	106
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	186
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	113
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	781
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	236
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	238
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	246
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	192
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	187
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	240
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	214

*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2011年33週

	ジフテリア		重症急性 呼吸器症候群*		鳥インフル エンザ (H5N1)		コレラ		細菌性赤痢		腸管出血性 大腸菌感染症		腸チフス		パラチフス		E型肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	5	5	2	124	138	2492	-	14	-	17	1	39
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	49	-	-	-	-	-	8
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	18	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	76	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	4	57	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	15	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	289	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	22	-	-	-	-	-	1
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	29	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	56	-	2	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	25	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	9	83	-	1	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	16	125	-	-	-	2	-	2
東京都	-	-	-	-	-	-	1	1	-	38	7	157	-	3	-	9	-	7
神奈川県	-	-	-	-	-	-	2	2	2	12	4	73	-	-	-	2	-	1
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	33	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19	181	-	-	-	1	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	40	-	1	-	-	-	1
福井県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	1	18	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	2	59	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50	-	-	-	-	-	1
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	7	49	-	-	-	-	-	2
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	2	69	-	1	-	2	-	2
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	23	-	-	-	1	1	3
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	54	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	56	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	1	1	-	5	11	130	-	2	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	2	81	-	-	-	-	-	2
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	16	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	1
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	42	-	-	-	-	-	1
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	3	42	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	13	-	-	-	-	-	1
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	9	-	-	-	-	-	1
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	8	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	1
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	10	94	-	2	-	-	-	2
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	19	-	-	-	-	-	1
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	62	-	1	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	43	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	14	-	1	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	44	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	58	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	29	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2011年33週

	ウエストナイル熱		A型肝炎		エキノコックス症		黄熱		オウム病		オムスク出血熱		回帰熱		キャサナル森林病		Q熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	141	-	12	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	49	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	21	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	9	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	3	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2011年33週

	狂犬病		コクシジ オイデス症		サル痘		腎症候性出血熱		西部ウマ脳炎		ダニ媒介脳炎		炭疽		チクングニア熱		つつが虫病	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	1	162
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	26
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	8
東京都	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

*鳥インフルエンザ H5N1 を除く。

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

2011年33週

	デング熱		東部ウマ脳炎		鳥インフルエンザ*		ニパウイルス感染症		日本紅斑熱		日本脳炎		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		鼻 疽	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	1	57	-	-	-	-	-	-	1	57	-	2	-	-	-	-	-	-
北海道	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	4	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	12	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	1	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	1	3	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2011年33週

	ブルセラ症		ベネズエラ ウマ脳炎		ヘンドラウイルス 感染症		発しんチフス		ポツリヌス症		マラリア		野 兎 病		ライム病		リッサウイルス 感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	44	-	-	-	5	-	-	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	16	-	-	-	3	-	-	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6	-	-	-	-	-	-	-	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	

*E型肝炎およびA型肝炎を除く。

**ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ペネズエラウマ脳炎およびリフトバレー熱を除く。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2011年33週

	リフトバレー熱		類鼻疽		レジオネラ症		レプトスピラ症		ロッキー山紅斑熱		アメーバ赤痢		ウイルス性肝炎*		急性脳炎**		クリプトスポリジウム症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	1	11	440	1	7	-	-	1	494	4	163	3	192	-	6
北海道	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	8	-	2	-	5	-	1
青森県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	7	-	-	-	2	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	5	-	5	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
福島県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	1	13	-	-	-	-	-	9	-	2	-	6	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	5	-	1	1	9	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	5	-	2	-	2	-	-
埼玉県	-	-	-	-	2	22	-	-	-	-	-	23	-	6	-	12	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-	1	37	-	5	-	16	-	-
東京都	-	-	-	-	3	38	-	3	-	-	-	107	-	27	-	13	-	2
神奈川県	-	-	-	-	2	28	-	-	-	-	-	39	1	10	-	9	-	-
新潟県	-	-	-	1	-	19	-	-	-	-	-	8	-	1	2	12	-	-
富山県	-	-	-	-	-	17	-	-	-	-	-	4	-	3	-	1	-	-
石川県	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-
福井県	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	10	-	3	-	6	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	8	-	1	-	2	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	15	-	-	-	11	-	-
愛知県	-	-	-	-	1	25	-	-	-	-	-	21	-	7	-	10	-	-
三重県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	7	-	7	-	5	-	2
滋賀県	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	2	-	1	-	1	-	-
京都府	-	-	-	-	1	11	-	-	-	-	-	13	2	7	-	11	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	37	-	1	-	-	-	52	-	11	-	15	-	1
兵庫県	-	-	-	-	-	32	-	-	-	-	-	21	1	12	-	9	-	-
奈良県	-	-	-	-	1	6	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
島根県	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	-	7	-	5	-	1	-	-
広島県	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	8	-	10	-	5	-	-
山口県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	2	-	3	-	2	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	5	-	5	-	1	-	-
高知県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-	-	15	-	8	-	3	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	5	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	9	-	2	-	5	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	2	-	1	-	4	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	2	-	6	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2011年33週

	クローンツェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		ジアルジア症		髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風しん症候群		梅毒		破傷風		バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	77	1	148	17	898	1	43	-	7	-	1	11	477	-	71	-	-
北海道	-	5	-	5	1	15	-	-	-	-	-	-	1	15	-	5	-	-
青森県	-	1	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	5	-	2	-	-
岩手県	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	10	-	1	-	-	-	-	1	7	-	6	-	-
秋田県	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
山形県	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
福島県	-	-	1	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
茨城県	-	3	-	3	-	16	-	2	-	-	-	-	-	15	-	4	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	14	-	-	-	-	-	-	1	5	-	1	-	-
群馬県	-	1	-	-	-	10	-	-	-	-	-	1	-	3	-	1	-	-
埼玉県	-	3	-	4	-	28	-	3	-	-	-	-	-	11	-	2	-	-
千葉県	-	5	-	6	1	36	-	1	-	1	-	-	-	12	-	1	-	-
東京都	-	12	-	22	5	239	-	7	-	2	-	-	3	138	-	6	-	-
神奈川県	-	1	-	7	1	50	-	4	-	-	-	-	1	24	-	1	-	-
新潟県	-	2	-	7	-	6	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
富山県	-	-	-	4	-	2	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-
石川県	-	1	-	2	-	8	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-
福井県	-	-	-	2	-	4	-	1	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
山梨県	-	2	-	2	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	4	-	8	-	1	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-
岐阜県	-	1	-	2	1	15	-	1	-	-	-	-	-	9	-	1	-	-
静岡県	-	2	-	5	-	17	-	3	-	-	-	-	2	11	-	-	-	-
愛知県	-	1	-	10	1	62	-	3	-	-	-	-	-	30	-	3	-	-
三重県	-	2	-	2	-	8	-	1	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-
滋賀県	-	1	-	1	-	3	-	1	-	-	-	-	1	4	-	1	-	-
京都府	-	3	-	3	1	8	-	2	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-
大阪府	-	6	-	10	4	153	-	2	-	-	-	-	-	48	-	1	-	-
兵庫県	-	2	-	3	-	29	1	3	-	-	-	-	-	21	-	1	-	-
奈良県	-	1	-	-	-	7	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
和歌山県	-	1	-	2	-	7	-	1	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-
鳥取県	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	2	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-
岡山県	-	1	-	1	-	8	-	2	-	-	-	-	-	7	-	1	-	-
広島県	-	2	-	3	-	20	-	-	-	-	-	-	-	3	-	3	-	-
山口県	-	1	-	3	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
香川県	-	2	-	2	-	4	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
愛媛県	-	2	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	1	-	3	-	1	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-
福岡県	-	4	-	18	1	31	-	-	-	1	-	-	1	23	-	2	-	-
佐賀県	-	2	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	1	-	6	-	1	-	-	-	-	-	7	-	1	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	7	-	1	-	-
大分県	-	2	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-
宮崎県	-	-	-	1	-	8	-	-	-	2	-	-	-	7	-	7	-	-
鹿児島県	-	2	-	-	-	9	-	-	-	1	-	-	-	13	-	2	-	-
沖縄県	-	-	-	3	-	10	-	1	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別 2011年33週

	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		風しん		麻しん	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	1	35	12	297	2	389
北海道	-	-	-	18	-	8
青森県	-	1	-	-	-	2
岩手県	-	-	-	1	-	1
宮城県	-	1	-	1	-	1
秋田県	-	1	-	1	-	1
山形県	-	-	-	3	-	-
福島県	-	-	-	1	-	-
茨城県	-	-	-	9	-	-
栃木県	-	1	-	1	-	8
群馬県	-	1	-	-	-	5
埼玉県	-	1	-	6	-	26
千葉県	-	4	-	7	-	24
東京都	-	1	-	25	-	158
神奈川県	1	6	4	60	-	39
新潟県	-	-	-	5	-	-
富山県	-	-	-	2	-	-
石川県	-	-	-	1	-	-
福井県	-	-	-	1	-	1
山梨県	-	-	-	-	-	2
長野県	-	1	-	1	-	1
岐阜県	-	1	-	2	-	2
静岡県	-	-	-	4	-	8
愛知県	-	-	-	9	-	28
三重県	-	-	-	5	-	-
滋賀県	-	-	-	2	1	3
京都府	-	1	-	1	-	3
大阪府	-	5	3	45	-	9
兵庫県	-	1	1	7	-	12
奈良県	-	-	-	1	-	2
和歌山県	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	1	-	-
島根県	-	-	-	1	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	4
広島県	-	1	-	12	-	24
山口県	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	1
香川県	-	-	-	1	-	1
愛媛県	-	1	-	1	-	3
高知県	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	2	4	54	1	6
佐賀県	-	-	-	1	-	-
長崎県	-	-	-	1	-	3
熊本県	-	2	-	2	-	-
大分県	-	-	-	2	-	-
宮崎県	-	-	-	1	-	1
鹿児島県	-	1	-	1	-	2
沖縄県	-	2	-	-	-	-

*鳥インフルエンザを除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2011年33週

	インフルエンザ*		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	59	0.01	1163	0.38	1527	0.50	6863	2.25	1900	0.62	13225	4.33	993	0.33	1739	0.57	84	0.03
北海道	-	-	75	0.52	78	0.55	136	0.95	86	0.60	518	3.62	56	0.39	68	0.48	-	-
青森県	-	-	5	0.13	7	0.18	38	0.95	25	0.63	502	12.55	6	0.15	36	0.90	-	-
岩手県	-	-	6	0.15	13	0.33	69	1.73	21	0.53	426	10.65	11	0.28	23	0.58	-	-
宮城県	-	-	5	0.08	12	0.20	154	2.61	43	0.73	383	6.49	8	0.14	25	0.42	-	-
秋田県	-	-	14	0.40	17	0.49	83	2.37	10	0.29	337	9.63	7	0.20	28	0.80	-	-
山形県	-	-	12	0.40	8	0.27	63	2.10	22	0.73	275	9.17	15	0.50	22	0.73	-	-
福島県	3	0.04	14	0.29	30	0.63	64	1.33	30	0.63	145	3.02	41	0.85	44	0.92	-	-
茨城県	6	0.05	11	0.15	21	0.28	76	1.01	27	0.36	220	2.93	27	0.36	30	0.40	2	0.03
栃木県	-	-	14	0.29	21	0.44	42	0.88	22	0.46	69	1.44	15	0.31	19	0.40	3	0.06
群馬県	-	-	53	0.90	16	0.27	124	2.10	29	0.49	263	4.46	20	0.34	28	0.47	1	0.02
埼玉県	-	-	93	0.66	75	0.54	312	2.23	70	0.50	654	4.67	60	0.43	80	0.57	2	0.01
千葉県	2	0.01	25	0.21	111	0.95	210	1.79	56	0.48	532	4.55	25	0.21	49	0.42	6	0.05
東京都	2	0.01	61	0.25	103	0.42	505	2.06	105	0.43	1021	4.17	57	0.23	101	0.41	-	-
神奈川県	-	-	41	0.24	41	0.24	275	1.60	85	0.49	995	5.78	25	0.15	88	0.51	1	0.01
新潟県	-	-	45	0.75	28	0.47	103	1.72	45	0.75	303	5.05	7	0.12	30	0.50	4	0.07
富山県	-	-	16	0.55	13	0.45	116	4.00	17	0.59	138	4.76	1	0.03	9	0.31	-	-
石川県	1	0.02	7	0.24	30	1.03	60	2.07	10	0.34	157	5.41	7	0.24	12	0.41	-	-
福井県	-	-	6	0.27	26	1.18	88	4.00	23	1.05	59	2.68	1	0.05	13	0.59	-	-
山梨県	-	-	12	0.50	4	0.17	32	1.33	7	0.29	110	4.58	7	0.29	9	0.38	1	0.04
長野県	-	-	24	0.44	31	0.57	102	1.89	24	0.44	383	7.09	25	0.46	18	0.33	2	0.04
岐阜県	5	0.06	30	0.57	16	0.30	121	2.28	35	0.66	316	5.96	12	0.23	20	0.38	2	0.04
静岡県	-	-	46	0.55	39	0.46	165	1.96	36	0.43	349	4.15	21	0.25	53	0.63	6	0.07
愛知県	2	0.01	66	0.37	51	0.28	436	2.44	138	0.77	986	5.51	118	0.66	108	0.60	3	0.02
三重県	2	0.03	29	0.64	20	0.44	164	3.64	59	1.31	297	6.60	14	0.31	49	1.09	1	0.02
滋賀県	-	-	7	0.22	16	0.50	99	3.09	32	1.00	133	4.16	5	0.16	19	0.59	1	0.03
京都府	-	-	10	0.14	18	0.25	109	1.49	37	0.51	162	2.22	13	0.18	24	0.33	1	0.01
大阪府	1	0.00	66	0.34	105	0.54	469	2.43	120	0.62	353	1.83	69	0.36	110	0.57	3	0.02
兵庫県	-	-	36	0.28	49	0.38	316	2.45	73	0.57	325	2.52	34	0.26	60	0.47	17	0.13
奈良県	-	-	22	0.63	5	0.14	66	1.89	20	0.57	66	1.89	13	0.37	7	0.20	-	-
和歌山県	-	-	6	0.19	14	0.45	42	1.35	17	0.55	64	2.06	18	0.58	18	0.58	1	0.03
鳥取県	2	0.07	13	0.68	22	1.16	59	3.11	10	0.53	7	0.37	5	0.26	8	0.42	-	-
島根県	-	-	1	0.04	15	0.65	89	3.87	25	1.09	53	2.30	6	0.26	24	1.04	1	0.04
岡山県	-	-	27	0.50	19	0.35	184	3.41	23	0.43	67	1.24	7	0.13	27	0.50	2	0.04
広島県	1	0.01	38	0.53	33	0.46	163	2.26	52	0.72	230	3.19	29	0.40	40	0.56	7	0.10
山口県	-	-	9	0.19	30	0.64	125	2.66	31	0.66	187	3.98	20	0.43	36	0.77	-	-
徳島県	-	-	18	0.78	16	0.70	85	3.70	20	0.87	34	1.48	25	1.09	12	0.52	-	-
香川県	1	0.02	16	0.53	13	0.43	100	3.33	10	0.33	56	1.87	12	0.40	10	0.33	1	0.03
愛媛県	-	-	21	0.57	15	0.41	104	2.81	21	0.57	80	2.16	22	0.59	29	0.78	-	-
高知県	-	-	13	0.43	19	0.63	34	1.13	24	0.80	207	6.90	7	0.23	18	0.60	-	-
福岡県	3	0.02	57	0.48	93	0.78	322	2.68	89	0.74	292	2.43	25	0.21	88	0.73	9	0.08
佐賀県	-	-	3	0.13	20	0.87	29	1.26	23	1.00	84	3.65	3	0.13	12	0.52	-	-
長崎県	-	-	17	0.39	40	0.91	104	2.36	50	1.14	207	4.70	2	0.05	30	0.68	3	0.07
熊本県	-	-	14	0.29	36	0.75	182	3.79	31	0.65	277	5.77	3	0.06	58	1.21	-	-
大分県	-	-	1	0.03	39	1.08	196	5.44	41	1.14	300	8.33	14	0.39	38	1.06	-	-
宮崎県	-	-	28	0.78	29	0.81	144	4.00	50	1.39	223	6.19	38	1.06	51	1.42	-	-
鹿児島県	3	0.03	25	0.45	45	0.82	231	4.20	62	1.13	184	3.35	26	0.47	46	0.84	-	-
沖縄県	25	0.43	5	0.15	25	0.74	73	2.15	14	0.41	196	5.76	11	0.32	12	0.35	4	0.12

*髄膜炎菌性髄膜炎は除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2011年33週

	ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎*		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		RSウイルス感染症
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数
総数	6509	2.13	2263	0.74	146	0.22	507	0.76	10	0.02	48	0.10	339	0.74	10	0.02	857
北海道	496	3.47	40	0.28	-	-	11	0.38	-	-	1	0.04	3	0.13	-	-	25
青森県	111	2.78	56	1.40	-	-	9	0.82	-	-	-	-	8	1.33	-	-	7
岩手県	73	1.83	63	1.58	-	-	9	0.64	-	-	-	-	22	1.16	-	-	6
宮城県	203	3.44	33	0.56	-	-	5	0.42	-	-	-	-	18	1.50	1	0.08	5
秋田県	152	4.34	20	0.57	-	-	1	0.14	-	-	-	-	4	0.50	-	-	1
山形県	136	4.53	40	1.33	-	-	6	0.75	-	-	2	0.20	2	0.20	-	-	-
福島県	285	5.94	41	0.85	-	-	18	1.50	1	0.14	-	-	6	0.86	-	-	2
茨城県	205	2.73	34	0.45	-	-	19	1.12	-	-	-	-	7	0.54	-	-	2
栃木県	41	0.85	24	0.50	-	-	12	1.00	-	-	-	-	6	0.86	-	-	9
群馬県	245	4.15	37	0.63	-	-	18	1.20	-	-	-	-	12	1.50	-	-	2
埼玉県	438	3.13	35	0.25	-	-	18	0.46	1	0.11	4	0.44	13	1.44	-	-	18
千葉県	283	2.42	35	0.30	4	0.12	38	1.15	-	-	2	0.22	3	0.33	2	0.22	9
東京都	527	2.15	57	0.23	1	0.03	21	0.60	1	0.04	2	0.08	17	0.71	-	-	51
神奈川県	412	2.40	59	0.34	-	-	41	1.05	-	-	2	0.22	4	0.44	-	-	24
新潟県	531	8.85	101	1.68	-	-	12	1.33	-	-	2	0.17	4	0.33	4	0.33	17
富山県	88	3.03	13	0.45	-	-	2	0.29	-	-	-	-	9	1.80	-	-	-
石川県	37	1.28	16	0.55	-	-	2	0.29	-	-	1	0.20	3	0.60	-	-	3
福井県	33	1.50	1	0.05	-	-	3	1.00	1	0.17	-	-	3	0.50	-	-	7
山梨県	44	1.83	16	0.67	-	-	4	0.44	-	-	-	-	1	0.10	-	-	-
長野県	255	4.72	126	2.33	1	0.09	13	1.18	-	-	1	0.09	10	0.91	-	-	-
岐阜県	58	1.09	20	0.38	-	-	2	0.18	-	-	3	0.60	2	0.40	-	-	7
静岡県	199	2.37	83	0.99	-	-	29	1.45	-	-	-	-	2	0.22	-	-	28
愛知県	182	1.02	69	0.39	-	-	12	0.35	-	-	2	0.14	19	1.36	-	-	14
三重県	122	2.71	26	0.58	-	-	3	0.25	-	-	-	-	4	0.44	-	-	4
滋賀県	56	1.75	20	0.63	-	-	3	0.38	-	-	-	-	-	-	-	-	3
京都府	47	0.64	24	0.33	-	-	11	0.61	-	-	-	-	-	-	-	-	2
大阪府	125	0.65	121	0.63	-	-	23	0.45	1	0.07	-	-	44	2.93	-	-	208
兵庫県	91	0.71	134	1.04	-	-	15	0.43	-	-	3	0.30	1	0.10	-	-	25
奈良県	21	0.60	6	0.17	1	0.11	7	0.78	-	-	5	0.83	2	0.33	-	-	11
和歌山県	37	1.19	7	0.23	-	-	2	0.50	-	-	1	0.09	4	0.36	-	-	20
鳥取県	29	1.53	32	1.68	-	-	1	0.33	-	-	3	0.60	1	0.20	-	-	-
島根県	11	0.48	19	0.83	-	-	2	0.67	-	-	1	0.13	-	-	-	-	-
岡山県	83	1.54	103	1.91	-	-	8	0.67	-	-	-	-	4	0.80	-	-	4
広島県	48	0.67	39	0.54	-	-	22	1.22	-	-	1	0.05	12	0.57	1	0.05	20
山口県	30	0.64	44	0.94	-	-	3	0.33	-	-	1	0.11	14	1.56	1	0.11	23
徳島県	12	0.52	30	1.30	-	-	1	0.25	-	-	1	0.20	3	0.60	-	-	10
香川県	60	2.00	55	1.83	-	-	3	1.00	1	0.20	-	-	-	-	-	-	29
愛媛県	42	1.14	95	2.57	1	0.13	6	0.75	-	-	-	-	10	1.67	1	0.17	4
高知県	38	1.27	5	0.17	-	-	1	0.33	-	-	2	0.29	4	0.57	-	-	1
福岡県	162	1.35	115	0.96	-	-	20	0.77	-	-	-	-	7	0.47	-	-	75
佐賀県	26	1.13	24	1.04	-	-	1	0.25	-	-	-	-	7	1.17	-	-	2
長崎県	28	0.64	33	0.75	-	-	2	0.25	1	0.09	5	0.45	15	1.36	-	-	13
熊本県	88	1.83	85	1.77	-	-	15	1.67	-	-	1	0.07	4	0.27	-	-	1
大分県	94	2.61	26	0.72	1	0.20	5	1.00	1	0.09	-	-	5	0.45	-	-	-
宮崎県	174	4.83	79	2.19	-	-	14	2.33	-	-	-	-	-	-	-	-	77
鹿児島県	37	0.67	109	1.98	-	-	6	0.86	-	-	-	-	9	0.75	-	-	71
沖縄県	14	0.41	13	0.38	137	13.70	28	2.80	2	0.29	2	0.29	11	1.57	-	-	17

獣医師が届出を行う感染症と対象動物

注) 報告数は感染実験等の学術的研究による発生を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2011年33週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群(SARS)						結核		鳥インフルエンザ(H5N1)		細菌性赤痢	
	サル		サル		プレーリードッグ	イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		鳥類		サル		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	71	-	15	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別 2011年33週

	ウエストナイル熱		エキノコックス症	
	鳥類		犬	
	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-

感染症週報 第13巻 第33号 2011年9月2日発行
 発行：国立感染症研究所

厚生労働省健康局結核感染症課
 厚生労働省大臣官房統計情報部

事務局：国立感染症研究所感染症情報センター

〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1

T E L : 03-5285-1111

F A X : 03-5285-1129

U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

< 国立感染症研究所 感染症情報センター >

<http://www.mhlw.go.jp/>

< 厚生労働省 >

<http://www.forth.go.jp/>

< 旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所) >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。